京城日報
十二日夕刊
大正六年一月十三日 (一) THE KEIJO NIPPO (土曜日)
定價 本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

# ◎羅馬會議意見一致

羅馬來電に依れば、羅馬に開催中の聯合國會議はマセドニア問題に關し完全なる意見の一致を見たりサロニカ戰線は毫も其の重要の度を減ずるに至らざる可し(紐育電報)

# ◎同盟軍の希臘南下

サロニカ來電=敵がモナスチールに於て大活動を試むべき兆候歷然たり葡牙利軍一個聯隊ドブルチャよりモナスチールに到著せりと報せらる又墺太利軍一個聯隊其他はカルカンデリより來援すべし敵の重なる目的は希臘王軍を援助するにあるべし多分獨逸の援軍若干はコンスタンチン王の指揮する希臘軍に合せんが爲めオキリダ湖を迂回して南下を企つべし(紐育電報)

# ◎露國新首相の宣言

露國首相トレポフ氏辭職しゴリツチン氏後任となりたるが氏は現下の戰爭に對し全力を注ぎ內政の改革は戰後に延期すべしと宣言せり(露都電報)

# ◎英國巡洋艦の自爆

英國巡洋艦シャノン號は十二月中艦內爆發の爲め沈沒したる旨公報を以て發表せられたり(紐育電報)

# ◎段內閣の改造か

段內閣改造計畫進行中にして梁啓超氏財務總長となるべしとの說あり(北京電報)

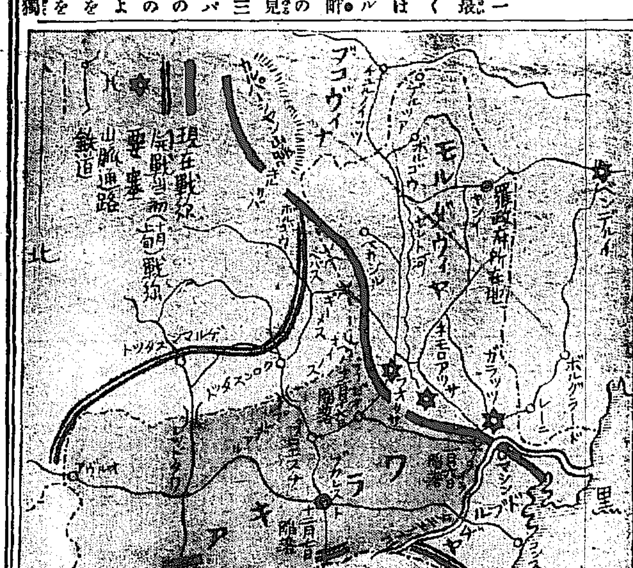
# ◎獨探活躍と郵船

近來獨探頻りに日本に活躍し爲めに歐洲航路危險なるを以て日本郵船會社に於ては歐洲航路の發著日取を秘密に附する計畫ありと(東京電報)

# ●危哉羅國

## 最後の防戰如何

獨逸同盟軍は今や巴爾幹の戰局に一大進展を劃せんとし羅國に對して最後の決戰を試みんとするもの、如く而して羅國亦危機に瀕しつゝあるは事實にして羅國內の戰局は北方モルダヴイヤ州の爭奪戰卽ちセレト河畔攻防戰の勝敗如何に依り羅國最後の命脈は決せられんとす今其戰況を見に露のプロシロフ軍は去る十二月三日キルリババの通路を越ゑてカルパシヤ山脈を踏過したるも爾來積雪の山地戰運々として振はず今尚當時の戰線を維持しあり今後も亦此方面より攻勢に轉じて其以南羅軍の防戰を援助し以てモルダヴイヤ州の危きを救ふべき豫想甚だ不十分なり又た獨のファルケンハイン軍は既にギーメスの通路を後にして更に前進を繼續し之が東方追擊最も急なり其の北側のベバス通路及び南側のオイノス通路何れも獨軍の通過する所となり斯くてセレト河畔の攻防戰將に酣ならんとす而してモルダヴイヤ州には一要塞なく加ふるにセレト河以東には地形の防禦に適すべきを認めず卽ち全土は悉く獨軍の蹂躙に歸するなきを保し難しフオクサニ要塞及び其東側のネモロアッサ要塞の前面に殺到し來りし獨軍は要塞前面の沼澤地に妨げられ進勢未だ捗どらずと雖も若し此方面にして更に獨軍の席捲する所となりセレト河下流より獨軍の渡河前進するあらば其以北上流の羅軍陣地は南方より脅かさるゝに至るべく斯て此方面の戰鬪は羅國土保守の爲に重要視すべし更に最も重要なるはガラッツ要塞の防守戰如何にあり獨のマッケンゼン軍はマシンを奪ひ更にブライラを占領し而して其前衛は既にセレト河に達し爲にガラッツ市街は獨軍砲彈距離に入れりとの報あり況やガラッツ要塞は規模小なる三等要塞なるに於ては露羅兩軍の守り必ずしも永く持久し能はざるべく若し之が陷落を見ばマッケンゼン軍はダニユーブ及びセレト兩河の合流點より北に渡りてフオクサニ及びネモロアッサ兩要塞の背後に迫るを得べく延いてセレト河畔羅軍の防戰は最南方ガラッツ要塞の喪失により少からざる打擊を受けんとする憂ひあり上述マシン及びブライラ兩市の陷落により羅國はドブルヂャ全州を失ひ第二回巴爾幹戰の所得を悉く敵手に委すに至るべく以上を綜合するに羅國土今後の命脈はセルダヴイヤ州セレト河畔の攻防戰の結果如何に繫り然も其防禦陣地は啻に前面のみならず南方より敵の猛襲を受けつゝあり卽ち爾後戰勢の推移頗る寒心に堪へざらしむ(地圖參照)




# ◎支那鐵道の增收

支那國有鐵道は許總長就任以來極力整頓したる結果各線共に著しく收入を增加し昨年十二月廿日迄に到る各線實收の總計算に據れば其前年より約一千萬元を增加せり而して其增收の重なる者は大約左の如し

京奉鐵道增收約四百數十萬元▲京漢鐵道增收約二百數十萬元▲津浦鐵道增收約百數十萬元

而して此增收一千餘萬元中の純益は約五六百萬元に上ると云ふが交通部は益々鐵道財政の整理に努めつゝあれば本年は更に激增を見るに至る可し(北京)

# ◎鑛業出願件數

大正五年十二月中に於ける鑛業出願數は合計二百四十件にして金鑛六十九件、黒鉛鑛三十九件、鐵二十三件、砂金十八件、金銀鑛十六件、金銀銅十三件等を其の重なるものとす

# ◎日滿連絡の改正發布

十二日朝刊に報せし日滿聯絡運輸旅客及び手荷物貨物運賃率規則第一種賃率適用規則及附屬運賃表中改正の件は十二日附官報告示第三號を以て公示されたり

# ◎定例長官會議

十二日は定例長官會議日なるより長谷川總督、山縣政務總監以下各部長官局長並に所屬官署の長等は午前十時より總督府第一會議室に參集通常政務に就き協議打合せの上正午散會したり

# ◎臨時研修會

總督府にては十二日午後四時より第二會議室に臨時研修會を開き平井事務官の支那視察談ありたり

# ◎京畿隊署長恒例會

十二日午後一時より京畿道警務部に於て京城府內各隊署長恒例會を開會し諸般の協議ありたり

# ◎立花中將西行

立花第十九師團長は初年兵教育狀況視察の爲め須田山崎兩參謀宮地副官を隨へ來る十六日午前九時二十分龍山發列車にて西鮮方面に出張するが其の日程は十六日午後三時平壤著十七日平壤吃里演習地視察十八日平壤駐屯隊視閱同日午後三時二十分發西行同夜八時十三分新義州著十九日午前八時新義州を發し同九時義州へ著義州守備隊視察午後五時義州發六時新義州に到著二十日新義州守備隊視察二十一日午前八時二十五分新義州發午後七時十九分龍山驛著歸任すべしと

# ◎荒井長官全快

微恙の爲め引籠療養中なりし荒井度支部長官は全快十二日より登廳せり上京期は多分十六日となる可し

# ◎總裁一行歸任

十一日披露宴を張る爲め下仁せし美濃部朝鮮銀行總裁井內調查局長伊爾秘書役の一行は同夜一泊十二日午前七時十分仁川發列車にて八時二十分歸任せり

# ◎大倉氏退京

滯京中なりし大倉喜七郎氏一行は十三日朝南大門驛發汽車にて退京黃海道兼二浦鐵山に向ふことゝなれり

# ◎京城電氣重役東上

京城電氣會社專務岡本[illegible]同社監查役武原喜太郎の兩氏は株主總會出席の爲め十三日午前八時半南大門驛發列車にて東上す可しと

# ◎吉田副官出張

吉田京畿道憲兵隊副官は管內城州郡及び開城郡內分遣所派遣所出張所巡視の爲め下士二名警部一名を隨へ往復八日間の豫定にて十二日朝出張せり

# ◎哈爾賓驛滯貨

## 貨物保管料の引上

東淸鐵道哈爾賓驛に於ては近來荷受人の貨物引取遲延する結果滯貨甚だしきに至れるを以て一般貨物(日滿連絡を含む)の同驛倉庫保管料を來る一月十四日より十倍方引揚ぐる旨鐵道局に通知ありたりと

# ◎平壤貿易盛況

客臘平壤貿易額は輸移出は七萬三百二十五圓、輸移入三十九萬七千九百圓合計四十六萬八千二百三十二圓にして前年同期の三十三萬六千三百十九圓に對比すれば實に十三萬一千八百九十三圓の激增なり而して昨年は一月以降貿易趨勢順調にして昨年に對比すれば概して連月增進を示せるは一般の好景氣と土地の發展に因るは勿論の事にして稅關當局は客臘廿日以後の出入激盛の際は三百七十餘萬圓臺をも突破すべく觀測し居たるは當時既に報道せる處なりしも二十七日以後頓みに輸移出入力衰へたる結果三百七十萬圓の打算空しく的中せざりしは殘念なれども併も年額三百六十九萬餘圓に達したるは平壤稅關創設以來嚆矢にして寔に最多額の新記錄なり

# ◎取引所出願

米、豆、株

京城實業家十六名の發起

京城實業家の主なる人々によりて計畫中なりし取引所問題は昨年末以來意外に協議進捗し愈來る十五日京城府を經由して一件書類を總督府に提出することゝなれり發起人は釘本藤次郎、山口太兵衛、和田常市、古城菅堂、天日常次郎の創立委員を始め中村再造、秋吉富太郎、進辰馬、小林藤右衛門、曾我勉、田村義次郎、大和與次郎、執行猪太郎、古城梅溪、關繁太郎、梶原末太郎氏等の十六名にして會社營業の目的は大豆、米、株の三種とし資本金五十萬圓內四分の一を第一回拂込とし發起人に於て一人當り三百株(一株五十圓)を引受くることに決定し居れりと

# ◎咸鏡新線工事進捗

咸鏡線新線工事中十二月末現在各工事進捗狀況左の如し

△咸鏡線淸津羅南間(十四哩七分)土工橋梁工事を通じて九分二厘通進行

△咸鏡線古茂山全巨里間(十一哩八分)土工橋梁工事を通じて九分三厘通進行

△咸鏡線全巨里靈山間(七哩四分)土工橋梁工事四分二厘通進行

△靈山會寧間(十哩九分)土工橋梁工事四分七厘通進行

# ◎精米業者張宴

精米業者奥田貞次郎、辻川富重、天日常次郎の諸氏發起となり十四日午後六時より總督府農商工部度支部鐵道局東拓鮮銀朝郵等の主要職員を千代本に招待す可しと

# ◎南副尉逝く

朝鮮步兵隊副尉南部薫氏は病ひにより十日逝去せしが十三日午前十時より訓練院に葬送あり軍司令部よりは千輪副官司令官代理として臨席し步兵參尉若くば特務曹長の指揮する儀仗兵一箇小隊も參列する由

# ◎德商洋行の開業

京城水標町に於て開業せる染料商德商洋行主橫濱守雄氏は今回[illegible]獨立したるが爾今德國洋行代理店として全鮮に對し好染料を供給すべしと

# ◎聯合國側對米回答

路透社の探知せる所に依ればウイルソン氏の通牒に對する聯合國側の回答は十日又は十一日巴里駐劄米國大使に交附せらるゝ筈なり回答文は可成長文のものにして聯合國側が講和談判を開始し得べき條件の概要を開示せるものならんと信ずる理由あり右回答文はウイルソン氏が接手せる後四十八時間を經て佛蘭西に於て發表せらるべし(倫敦電報)

# ◎露國內閣更迭內情

## 新首相文相の人物

最近の露國內閣更迭は何人も期待し居たる所にして格別驚くに足らず首相トレポフ氏の辭職せしは內相プロトポポフ氏の留任せざりし結果にして在任僅かに二百四十六日にして挂冠するに至れり其の後任者たるゴリツイン侯は守急派に屬する官僚政治家にして最近迄元老院議員なりしが其の在任中一回も演說を試みたる事なかりき文相イグナチエフ伯の辭職は一般に惜まれ居れり而して新文相クルチツキー博士は旣に此世を去れるカツソー氏の乾兒なりカツソー氏は進步黨員全部より蛇蝎視され居たりしは人の知る所なるべし新首相は聲明しく曰く『余の新政策は最後の勝利を得るに全力を盡し此の目的を達する迄は凡ゆる內政改革を延期する』と(露都電報)

## 京畿 仁川

▲久水前府尹引繼 久水外事課長は十二日午前十時下仁楠野新府尹に對し公式の事務引繼を了し此れと共に諸學校を歷訪轉任の挨拶をなし同日午後五時歸任の筈▲幼稚園開園 仁川公立幼稚園は冬期休園中の處來る十六日より開園すべし▲鮮銀總裁就任披露 朝鮮銀行總裁美濃部俊吉氏一行は十一日午後一時三十分仁川驛著來仁龜島支店長の案內にて築港其他を視察し續いて午後六時より鮮樓に櫻井稅關長奧田會頭重立ちたる諸外國人荻谷朝鮮新聞社長今井本社支局長其他官民有力者卅餘名を招待し披露の宴を催したり主客席定まるや總裁の就任挨拶あり次に櫻井稅關長來賓を代表して謝辭を述べ終つて多數藝妓の斡旋にて宴に移り實酣なるの頃主人側よりも龜島支店長先づ得意の淨瑠璃一席を演じ次で客側より奧田、下田、ベンネット、王成鴻氏等交るぐ奇抜の隱藝一幕宛を演じ多大の興を添へ一同十二分の驩を盡して散會したるは午後十時なりし

## 咸鏡 元山

▲元山商議新年宴會 元山商業會議所は來る十三日市內主なる官民五十餘名を招待し午後五時より丸芳樓に於て新年宴會を催すべく十日それぐ案內狀を發せり▲元山大隊衛生近狀 步兵第七十四聯隊第三大隊(元山)にては比較的暖地より來れる初年兵と雖も昨今の寒氣何等影響するところなく衛生狀態は頗る良好なるものゝ如し▲元山驛滯貨一掃 客臘來貨物停滯の爲め輸送に全力を注ぎつゝありし元山驛に於ては豫定の如く去る十日を以て貨物一千五百噸の大輸送を終ると共に漸く停滯を免るゝを得たり▲兩道長官元山通過 道長官會議に列席すべく申咸南道長官は書記加藤敬次郎氏を隨へ九日夜着元し桑原咸北道長官は道書記松室精三氏を隨へ十日未明著元し何れも十日午前九時四十五分發列車にて上京したり▲咸興聯隊陸軍始 步兵第七十四聯隊(咸興)陸軍始閱兵式は去る八日陸軍練兵場に於て加藤聯隊長統率志賀中佐指揮の下に極めて嚴肅裡に行はれたりと

## 全南 光州

▲蠶業獎勵大方針 本道にては明治四十五年勸業十年計畫に依り蠶業の獎勵を計畫し每年之を實行しつゝあるも豫期の如き成績を見る能はざるに依り本年劈頭更に訓令第一號を以て各郡守島司に詳細なる大方針を示し當局者は必死之が成績を擧ぐべく努力する事となり八日附訓令を發したる上郡守島司に之を通牒したり▲補助貨漸く緩和 昨年末拂底に拂底を告げたる當地方の補助貨も農工銀行が三千餘圓の補助貨を撒布せし爲め幸ひに年末決濟を爲し得られたるも其後越年して棉花の最盛出廻期に入れば又々如何あらんと當業者の杞憂を見つゝありしに幸ひにして此聲を聞かず商年末も近き事とて此上もなき事なり▲棉花減收三割五分 昨年本道棉花は三千七十八萬斤を收穫すべき豫想なりしに水害の爲め約二割減との聲を聞き一般に悲觀しつゝありしが棉花相場の昂騰に依り愁眉を開き居たるに最近道當局にて嚴密調査の結果實際に於て三割五分減卽ち實收高は二千萬斤內外なるべしとの事に棉業者は勿論一般に於ても其減收に驚きつゝあり而して此水害に依る減收を價格にすれば正に百七十二萬四千七百圓に及ぶべしと▲浦野部長入京 警務部長會議列席の爲め來る二十日頃出發入京すべし

## 木浦

▲十二月木浦驛 當驛に就き十二月の營業成績を聞くに乘車人員五千二百九十七人下車人員五千百七人入場人員千四百七十八名貨物は發送七百四十四噸到著一千八百十噸にして驛收入は合計九千百五十八圓四十錢なりと因みに發送貨物の重なるものは食鹽綿布石油セメントにして到著貨物の重なるものは棉花玄米籾叺等なりと▲十二月漁類水揚高 當魚市場に於ける水揚高は合計一萬一千五百三十六圓にして中旬迄は天候順調なりし爲め大黑山島方面よりの廻著多く前年同季に比し凡三千圓を增加せり一般魚價は各地の需要旺盛にして京龍方面への輸送增加せる爲め前月に比し約三四割の高價なり▲重要貿易額 當港十二月貿易額は輸移出六十九萬二千三百八十五圓輸移入二十萬六百五十二圓合計八十九萬三千〇三十五圓なりと▲昨年當地檢米數 昨年一月より十二月迄檢米數は受驗總數九萬〇〇五叺にして內特等千〇七十二叺上格一萬七千七百叺にして不合格は僅かに百五十叺なり▲林署長登廳 合閱の喪に服し引籠中なりし林警視は昨九日より登廳執務せり

## 慶北 大邱

▲蠶林農業技術員會議 慶尚北道廳にては二月五日より三日間各郡技術員を集め林、農、蠶業に付て會議を開く豫定▲大邱貿易 大正五年十二月中大邱貿易額を記さんに棉花、米、大豆は輸移出品の大分を占め之が合計は四萬二千三十三圓にして輸移入品に於ては絹、織絲、生金巾類日本木綿其他卅九品にて之が價格合計卅八萬四千二百五十五圓也

# ◎安東縣より

▲貯金銀行總會 安東貯金銀行にては來る十六日午後六時より公會堂に於て第十二期定時株主總會を開き大正五年下半期決算報告並に利益配當案を附議する筈なるが同行當期の成績は頗る良好にて十二月末日現在の概況の如き預金七十七萬〇九百三十一圓七十二錢貸出七十五萬八千八百八十九圓〇八錢に達し半期間の純益金一萬五千七百三十八圓積立金一萬二千圓株主配當金年一割二分にて好成績を擧げたるが是れ實に創業以來未曾有のことなり▲材木商組合總會 安東材木商組合にては十一日午後三時より丸小亭に於て定時總會を開き終つて親睦宴を開けり▲保管料引上 哈爾賓驛に於ては荷受人の荷物引取遲延する爲め滯貨甚しきに依り露暦一月十五日より總ての貨物に對する保管料を從來より十割方引上ぐる由▲北支各港結氷 秦皇島を始め北支沿岸各港結氷の爲め滿鐵各驛にては當分の間船便に依る京奉線及び山東方面行貨物の輸送方を引受けざる由

# 人事消息

▲柳忠北道長官 十一日午後入京
▲李全北道長官 同上浦尾へ
▲神林啓太郎氏(咸興炭坑重役) 十三日朝入京浦尾に投宿の豫定
▲工藤平南道長官 十三日夜同上
▲李江原道長官 十一日夜入京原金へ
▲鈴木慶北道長官 十二日夜入京巴城館に投宿の豫定
▲宮木全南道長官 十三日夜入京天眞樓に投宿の豫定
▲中野哉氏(鮮銀大邱支店長) 十二日朝入京不知火へ
▲北原彥次郎氏(農銀淸津支店長) 十一日夜入京濟光館へ
▲山科他喜雄氏(江原道國境守備隊附軍醫) 同上浦尾へ
▲富士英氏(京城駐在支那總領事)▲馬永發氏(元山駐在支那領事)▲黃宗麟氏(同副領事) 十一日夜仁川より入京
▲久水三郎氏(外事課長) 事務引繼の爲め十二日仁川に赴く
▲野口次郎三氏(畜產技師) 十二日朝內地より歸任
▲生田淸三郎氏(水產課長) 二十日頃歸任の豫定なり
▲京城駐在露國副領事 十二日午前八時卅分南大門驛發列車にて釜山へ

□大塊翁より

翁の叙勲に就き過日當地有志俳人より賀句を寄せたるに對し折返し無佛居士を經て左の返句を寄せられたり

旭日の光りに思ふ高麗の山

# お正月の思ひ出

—(六)衲等が若い頃は喰つたものぢや—

## お經が胃病の妙藥

### 山道は自動車よりも脚の方が速い

—曹洞宗大本山別院高田穎哉老師の談—

われ〳〵禪宗の方ではどんな雲水でもお正月は寺に居る、衲は子供の時分東京に居つたが盆正月には必ず神奈川縣の寺に歸つたものぢや、衲は今でも

◆餘り身裝に頓著 せぬ方だがむかし十五六才頃の正月には麻のボロ〳〵になつた著物を著て平氣で學校に行つて居つた、すると先生が見るに見かねて「お前の法衣はあまりにひどい、衲が和尙に手紙をもたせるから新調して貰つては如何ぢや」と云はれた、併し衲は迦葉尊者が糞掃衣を著て居られた例をひいて平氣で居つた

◆糞掃衣といふの は塵溜めから拾ひ上げた布を七度洗ふて七度香に薰じて用ゐるつゞれ衣のことであるが衲の正月著はいつも此の糞掃衣式であつた、それに若い時分の衲の健脚は實に驚くべきものでいつか大學林に居つた時分の正月には禪宗に用ふる横二寸縱三寸、厚味五分ばかりの餅を十五ばかり喰つて三日間喰ひつゞけたこともあつた併し其の頃の時節には當今のやうに

◆胃病などゝ稱す るものはなかつたから衲などは殆んど醫者の藥を飲むだことがない、たとひ大飯を喫つてもお經を讀むで步きさへすれば直ぐ腹が空て（由來『禪宗雲助』と呼ばれて雲水の健脚はわれ〳〵宗門のたてまへだが衲なぞも步くとにかけては人に劣けをとらぬ積りぢや

◆海印寺の和尙が 昨日も來て山へ來るには自動車もあるといふから衲などはなるべく汽車にも乘らぬ方ぢやから山路ならば步いた方が速からうといふて置いた、由來禪宗の雲水は十月十五日から一月十五日までは雪安居といふて寺に居るならはし、此の間は旅をしても寺に泊めて呉れぬのぢや、これは印度の五月から八月までを

◆雨安居といふて 印度では雨が多いのと蟲を踏み殺さぬ爲めに雲水を休むのである、それで雪安居中のお正月には前夜に歲を送る年經といふのを讀むで朝は明けの三時から百八の梵鐘を撞きならすのであるこれは百八の煩惱を撞き破るといふのだが元旦は亦 兩陛下に祈願して

◆大般若經を讀み あげる、それから本山などでは行鉢といふ食事をやるがこれは各人がめい〳〵持鉢といふのを持つて嚴格な式に則り食事をするので何百人居つてもコソとも云はせぬところは禮儀正しいものぢや、世間の茶の湯の式なども此の行鉢から出たといふが禪宗のは萬事今の軍隊式とよく似通ふやうぢやなう

### ◇警察で芽出度いお產

京城本町警察署衞生係の消防人夫櫻井町二丁目居住の車永善の妻洪姓女(三〇)は懷姙臨月中であつたが一月九日朝少し變調を來たした模樣がある爲め夫永善は出勤して居る關係上旁々本町署に行つて警察醫に診斷を乞ふ爲め自宅から警察署迄伴れて行つたところ到著するや否や今にも分娩しさうになつたので居合はせた衞生係では佐藤主任警部以下大騷ぎを演じ詰合ひの加賀見警察醫が產婆役となり佐藤警部が世話燒き婆さんとなつて何樣場所柄とて產室も無いので差當り人夫部屋をそれに當てゝ姙婦を靜かに寢かすと間もなく安々と可愛らしい女の嬰兒が產れた、朝鮮の習慣では姙婦が分娩すると母親へは直ぐにお粥を食はせるといふのだが辛つとの事で僅か計りの白米を探し出して早速粥の獻立をするといふ申出でに其れではとあつて詰合ひの人々が判斷を下し何も出來先づ新年早々目出度き安產から其記念に嬰兒の命名をお賴みに姙婦も警察署でお產をしたのだでも警察署で玉のやうな嬰兒を安產したのだから名前は『警玉』と決定したとは先づはお芽出度う

### ●土方同志の喧嘩

## ●閉ぢ込められた小舟から

### 氷の上を這つて仁川の街へ買物に

稀有の嚴寒が十數日間打續いた爲め仁川港頭は氷塊疊々として殆んど二三十年來曾て見ざりし奇觀を呈して居る此れが爲め

◆港內の 舟航は全く杜絶の狀態に在るのみならず多數の小舟中には氷塊に凍て付けられて操縱の出來ぬ者、食糧缺乏して饑寒に苦しむ者等があつて何れも慘憺たる窮狀に陷つて居るが

◆滿潮時 は流氷の爲めに救助船を出す事が出來ず干潮時と雖も陸上から氷上渡涉の危險を冒して救助に赴く者も無い爲め舟子は萬難を排して或は

◆氷塊を 乘り越え或は辷り或は這つて陸地に來り必要品を求めて再び舟に戻ると言ふ有樣である、斯樣に海陸の聯絡が不可能であるから湖南丸の如き六日以來

◆荷役が 出來ず十日の出帆も出來ず鎭南浦で流氷に襲はれて辛くも逃れ出た福州丸も又鎭南浦積送の貨物を揚陸するが出來ない爲め空しく解氷を待つて居ると言ふ始末で

◆船主や 運送店などの損害は非常である港外も又同樣に險しくて永宗島から港口邊迄には風及び潮流の爲めに吹き寄せられた氷塊は相累つて氷山と化し恰も點々たる

◆島嶼の 如き有樣で各地の沿岸も又結氷流氷に舟運通せず時節柄穀類の搬出に大分困難して居る樣である海州行き

◆航路に は全州丸錦江丸の外汽船が就航して居るが此亦陸地に近づき得ずして空しく仁川に引返して居る、目下の處音信相通せず聯絡絶ゑて居る、然し同航路は命令航路であるから假令

◆目的が 達せぬ迄も就航せねばならぬと言ふので十一日夜から[illegible]汽船が出航した（仁川支局）

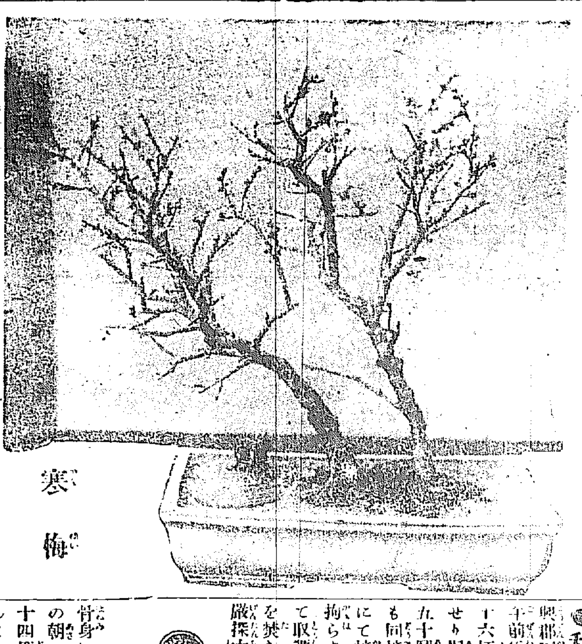
## ●慘死の夫に殉す

### 村民大いに讚賞す

江原道鐵原郡南面廣德里辛光石は妻羅姓女(三六)と共に夫婦仲睦しく暮し居る內客臘十二月十七日午後二時頃光石は附近の山中にて芝草刈取中誤つて高さ二十五間餘の懸崖より墜落して卽死したり急報に接し羅姓女は現場に駈けつけ慘死したる夫の屍に取り縋りて悲嘆の淚に暮れしが逆上したるものか直ちに件の懸崖より飛び降り共に殉死せんとしたるを折柄居合はせたる里民が制止し辛くも歸宅せしめたるに同夜家人の隙を窺ひ屋外に立出で手斧を以て前頸部に斬りつけて自殺を企て鮮血の中に苦悶中を發見せられ應急手當を加へたるも遂に同月二十三日絶命したり該地方の里民は右羅姓女の行爲は貞女の龜鑑なりとて賞讚し之が石碑を建立して表彰せんと協議したるが之を探知したる官憲にては兩人の夫婦間の愛情としては掬すべき點あるも其の自殺に就ては精神に異狀を呈したる結果なるを以て其旨里民に說諭する所ありて石碑の建立だけは中止せしめたり

## ●馬ぐるみ重石を強奪す

忠北堤川郡水山面赤谷里鞣良方同居鞣業小川活太郎(三)は十二月二十六日正午頃同里に於て京城西大門外玉川の雜貨商李正儀(三八)が馬夫と共に重石三百斤（百五十圓）を馬二頭に負はせ通行中を認め突然背後より現はれ馬夫の背を叩き自ら馬の口綱を牽きて拉し行きたるに正儀は恐怖して逃走したるより馬夫と共に赤谷里長金永鎭方に運搬したる際更に馬夫は同人を刑事巡査と誤認して是又逃走したるより小川は件の重石を馬ぐるみ配下の須藤欣悦と共に其の事務所なる東幕山に運搬して強奪したる爲め數日の後堤川警察署水山巡査駐在所に逮捕され目下取調中



寒梅

## ●連絡船に衝突

八日夜門司沿岸に繫船せる關門浚渫船木津丸の繫留鋼綱風浪の爲め切斷せられ折から附近に釜埔除の爲め碇泊せる關釜連絡船高麗丸の船側に流れかゝり高麗丸は昇降梯段を破壞されたるも其他に損害なく隔離したりと（釜山）

## ●石船の難破

### 親子五人の內二人溺死

釜山富平町片山三藏氏所有帆船若松丸（十四噸）に廣島縣豐田郡豐濱村生れの船頭尾川房太郎(三)一家族五名が乘組み十二月三十日石材積込みの爲め釜山より蔚山郡西生面新岩面地方へ向け出帆したるも波浪激しき爲め積込み不能にて其儘引返す途中東萊郡機張面佳川里火須浦沖合石首魚暗礁附近に差蒐りたる際突然大波の爲め轉覆して檣折れ何れも海中に墜落したるが房次郎及び妻つな(三)二女ちゑ(六)の三名は辛くも傳馬船にて沿岸に漂著して松亭里居住の酒井市太郎の漁撈の者に救助されしが長女いつゑ(一)長男辰巳(一)の兩名は遂に溺死せり

## ●病める娘を生埋めにす

全南羅州郡文平面大道里尹明彥妻朴大谷(三)は同居人李某の連子女兒四歲なるが赤痢に罹り大正五年七月中看護したるも速かに全治の見込なきを見て同女兒を七月三十日午後五時頃居里の山中に生埋めして遂に死亡せしめたるが此程發覺し同人は榮山浦分隊憲兵派遣所に逮捕されたり

## ●貨幣僞造の資金

—詐欺されし奴等の暗躍—

住所不定の尹昌吉(三〇)忠南公州郡州外面孝浦里鄭生任公燮(三九)大田郡儒城面神明洞申弘根(三)等は共謀貨幣僞造に名を藉り其の資金提供に就いて大正五年舊六月中忠南燕岐郡北面性齋里洪遵燮(三)に對し其の資金を提出すれば莫大の利益ありと說きて同人を京城に誘致し仁寺洞朴召史方に宿泊せしめて酒色を饗し遂に二百七十圓を出金せしめて之を騙取し各分配し尙同樣手段にて公州郡儀堂面柳溪里金允善(三九)よりも二十圓を騙取したる後逃走したること發覺し目下犯人嚴探中

## ●癲癇持の燒死

### 焚火中に發病して

慶北聞慶郡身北面八多里朴義鍾方より一月五日午前八時半出火し里民集まりて消防に努め居宅一棟を燒失したるのみにて午前九時二十分頃鎭火したるが同人妻洪氏(三五)は癲癇の持病あり折柄焚火中なりしが忽然卒倒したる爲め焚口の火が傍らの薪に延燒して遂に大事に及び爲めに同女は猛火中に燒死を遂げ居るを鎭火後發見したり損害約十圓

## ●本町の小火

十二日午前一時半頃京城本町二丁目山口呉服店の炊事場の煙突より飛火し薪炭倉庫と炊事場との間に堆積しある塵芥に燃え移りて發火したるより家人が消防中急報に依り南山町南大門黃金町の常備隊及び義勇消防組本町警察署員出動倉庫一坪半を燒きたるのみにて直ちに消止めたるが損害約十五圓場所柄とて一時は雜沓したり

## ●鬱陵島大雪

慶尙南道鬱陵島に於ては本月一日以來降雪あり午後三時には積雪四尺以上に達し且つ吹雪烈しく警察署所在地は交通至難となりたるが引續き吹雪止まず八日午前十時には積雪六尺に達し客月二十五日以來汽船航行せずと

## ●私立學校の火事

咸南咸興郡下朝陽面私立鳳陽學校より五日午前零時廿分頃發火し校舍一棟（三十六坪）を全燒して同二時半頃鎭火せり損害は建物約一千百圓校具百九十圓其他合計一千三百圓なりと尤も同校は十二月二十五日以來休業中にて校內には人及び火氣等なきにも拘らず發火したるを以て所轄官憲にて取調べの結果校舍の玄關口にて薪を焚きたる形跡あるを以て目下犯人嚴探中

## ●暖く漸やく緩んだ

### 十二日零下十四度

骨身に泌み徹るやうな寒さも十二日の朝に成つて大變に和らぎ最低零下十四度八分まで騰つて參りましたこれとても例年に比らべると決して

▲暖かな溫度 では有りませんが四日以來の寒氣が餘り烈しかつたものですから十二日に成つて大變急に暖かく成つたやうに覺ゆるので實に四日から十一日の朝までの寒さは例年の平均溫度よりも十度乃至十二三度づゝ寒かつたのです大變暖かに感ずる十二日の朝の溫度でさへも平年に比較すると八度五六分は

▲寒いのです がまづ此の分なれば當分は猛寒の襲來せぬものと見ても差閊へないでせう雲も多少見ゑましたからこれから四溫中は曇天の模樣で暖い事と思ひます暖かく成つた原因は十一日頃まで支那中部に優勢なる高氣壓があつて一方日本海方面に濃厚なる低氣壓があつた爲め

▲氣壓の傾斜 の著しかつたのが今年の寒氣の原因を爲して居つたのが十日に至つて日本海方面に新氣壓が生じて氣壓の平均を保つやうになり隨つて蒙古方面から盛んに寒波を送つて居つた氣流の緩和されると共に朝鮮各地共に一帶に暖かくなりました十二日には仁川は京城よりも四度暖かく

▲釜山木浦等 は零度近くまで騰り其他平壤、羅南及び國境地方も皆な暖かくなりました（京城測候所長談）

## ●兵庫縣下の大火

—お神樂村五十三戶燒失—

兵庫縣丹波國氷上郡神樂村安達鐵造方より十日朝出火し五十三戶を燒失せり（大阪特電）

## ●白人蔘の中毒

仁川花平里趙永游方同居日稼金海璜(四)は十二月二十九日午後一時頃趙永游の妾金氏が病氣の爲め醫生の診斷に基づき白人蔘と鷄卵とを混じて煎藥となして飲用したる其の搾り粕を食したるに直ちに中毒して死亡したりと

## ●恨みの放火

慶南居昌郡熊陽面東湖里李仁大妻權順分(二)は同里李俊宇の倅李守均が夫仁大に姦を周旋しつゝあるを恨み十二月二十二日俊宇方家人の不在中屋根に放火して居宅一棟を全燒せしめたるが居昌憲兵分隊に檢擧せられ取調べの上檢事局へ送らる

## ●六百圓を窃む

慶南河東郡東面辰橋里居住支那商店王紳卿方に十二月十六日夜一名の曲者忍び込み現金六百六圓餘を窃取されたるより犯人嚴探中なりしが此程賊は南面葛西里の鍛冶職金光守なりしこと判明して河東警察署の手に檢擧されたり

## ●洛東江結氷

洛東江は過日來の寒氣の爲め八日全河結氷し舟路杜絶せり（釜山）

### 灯ともし頃

▲入京中の大倉久美子夫人は溝口伯の令孃で帝都の交際社會にも稀れな美人との評がある▲今度郎君に隨ひ嚴寒の朝鮮を經て滿洲の本溪湖まで行くのださうな▲何んでも夫人は伊藤公の媒酌で明治四十年大倉家に輿入れして新夫婦はすぐ新婚旅行を支那に試みた▲其の行きか歸りかに京城を訪ふたのは丁度天眞樓の新築匆々で軍隊の解散で漢城の內外穩やかならぬ時だつたらしく南大門邊で銃聲がわたり南山に大砲を引揚げたとの噂があつたりしたさうな▲久美子夫人はまだ當時の嬉しい旅とは云ひ乍ら恐い京城、汚なかつた京城と云ふ記憶が强かつたのに今回入京して京城の繁華で都市としての面目一新せるには美しい目を睜つて驚ろいて居るさうな

曇り但少雪


物品修理公告

一、荷車々輪修理　壹百個

此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上

入札者ハ京城府內ニ於テ國稅、地方費府稅學校組合費年額拾圓以上納ムル者ニシテ壹年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル

大正五年十二月六日京城府條例第二號ニ依リ入札希望ノ者ハ本府會計係ニ就キ仕樣書現物等熟覽ノ上壹月拾五日午前拾壹時限リ同會計係ニ入札スヘシ卽時開札ス

此契約ハ朝鮮總督府京城府尹金谷充擔任ス

大正五年壹月拾日　京城府

外交員採用

外交に經驗ある者、其地に於て爲し得る業務、手當あり、月收五十圓以上其他特別希望者は履歷書を本社外交總長宛送れ

東京市日本橋區坂本町十九番地　東京勸業株式會社

大正六年男女運勢　一冊十五錢

九星易學　陶宮家相　骨相速成　敎授要規

東京市本鄕區　陽新堂

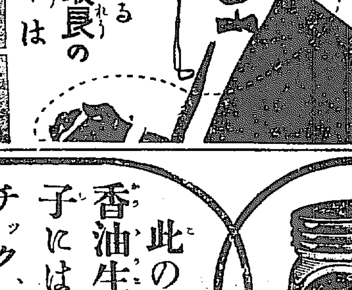
仁川　白神洋行　京城

鐵　鋼材　浪板、平板　針金、洋釘

ペイント、油類一切、コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル、帶革、ロープ　機械、工具　附屬品　其他

新田帶革總代理店

書畫骨董入札


スグ効ある最新最良の眼藥は

圓治水

特長　○最新高貴藥を配伍す。○裝瓶は嚴重に殺菌消毒す。○効驗は迅速偉大なり。

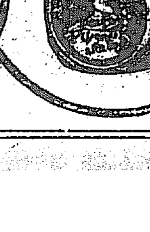
主効　○外の眼藥で効なき人試よ。○トラホーム○やにめ○はやりめ○ろうみめ○かすみめ○めくさめ　○其他眼病諸症に効あり。

新式点眼器付十錢、廿錢郵稅二錢　全國各藥店に取次す

本舗　大阪　東京　丹平商會藥房

毛質を絶對に變化せず益々美艶豐毛ならしむ

レートポマード



此の新煉香油生れて男子にはコスメチック、女子には鬢附が全く不要!!

それ程附け工合といひ、艶といひ、匂といひ一點の非のない最新式の煉香油です

東京　平尾賛平

# 遉がの苦力 底知れぬ寒に慄へて

## 戸外勞働の出來ない 滿洲の寒さ

舊臘から今年にかけての大寒氣は近年未曾有といふべく本來寒い土地の滿蒙地方の寒さといつたらない奉天以北は零下二十五六度で滿洲中一番暖かい大連でも零下十五六度内外の氷雪と朔風の間に在滿十餘萬の邦人は顫へながら新年を迎へたが奉天の如きは一望悉く氷雪の天地と化し

▼道路一帶に氷結し 步行の危險は勿論馬車人車の往來さへ不自由を感ずる始末で馬車鐵道も軌條の氷結のために屢々立往生をするといふ始末困つて唯さへ空地多く荒涼たる滿鐵の奉天新市街の寂寥は譬ふるに物なく行人跡を絶ち買客の往來さへ例年の三分の一にも上らなかつたといふ有様である長春方面より吉林及び四平街方面の更に一層嚴寒なるは言ふ迄もなく寒氣に馴れた支那人すら多くは戸を閉して室内に立籠り戸外勞働は全く不可能となつて了つた唯不思議なことには

▼凍死者の少ない ことで一昨年の一月末から二月初旬にかけての烈寒當時には長春方面に苦力又は乞食の凍死者累出したが此の寒さに凍死者の餘り出ないのは昨年中銀價の暴騰や種々の事業の興起で一般勞働者の懷中工合が好くなり乞食も隨つて其數を減じた爲だらうといふ話である西比利亞又は沿黑龍省地方では勞働者の不足に困つて居る程で實際勞働者の景氣は非常に好く大連でも盛んに支那苦力を利用するので凍死者の尠ないのは要するに之が爲であると認めて差支なからう大連市中も

▼滿地氷雪に埋れ 二日の買初めにも市中は極めて寂寥たる狀を呈し各商家とも商品賣行きの充分ならざるを喞ち居る始末之を一昨年の嚴寒當時に比すれば氷結せる道路の往來は左して危險でもないが其れでも足を滑らして轉ぶものが每日平均十數人もあるので自然外出するもの尠なくそれ丈け市中の商況に影響するのである轉んで頭蓋骨を傷めたものや足又は手に凍傷したものが現に大連醫院に十五六人も入院して居る尾籠な話だが雪隱の糞便が全く氷結した抔は遂ぞ是迄になかつた事で

▼水道の栓が結氷 して破裂した處もあり十餘年來大連に住んで居るものが斯んな事はなかつたと驚いて居る次第その酷烈さ想ひ見るべし不凍港の大連港も是では勢ひ結氷せざるを得ざる譯で第一第二埠頭の間は既に殆んど結氷し露西亞町海岸から臭水子、大孤山方面にかけて一帶に氷りつめ平均七八寸から厚い處は一尺以上に及び汽船の出入は自由ならず碎氷船を先導に辛うじて出入はして居るもの、著發共に非常に遲延し五日夜港外に著した壺中丸は此の結氷のため

▼同夜檢疫を受る 能はず六日の朝やつと檢疫を濟まし其れから荷役を開始し七日午前十時出港の場合もその豫定通りに往かず午後二時頃漸く錨を拔いた始末で船舶の遲延は云ふ迄もない事である荷役の困難と來たら非常なもので埠頭堆積に縣つて居る埠頭の昨今は荷役の困難と苦力の不足とで大方ならぬ難澁を極めて居る苦力請負の福昌公司の如きも大いに閉口して居る大連港が此の始末だから渤海一面流氷絶えず徂徠して其の危險なること甚だしく三日大連出港 港來島に向ひたる大連汽船

▼濟通丸は流氷の ために進航出來ず止むを得ず途中から引返して來たが營口天津間、塘沽龍口間も航海殆ど不可能となり芝罘龍口間渤海の航路は昨今全く危險狀態に陷つたので此の方面の會合航路に從事する大連汽船會社は當分休航をするだらうとの事である汽車の交通も積雪のために思はしからず滿鐵車輛中車軸に故障を生ぜしもの尠からず軌條の折損箇所も頻發し自然

▼運轉の上に支障 を來たすを免かれず保線當局は絶ず巡視員を派して檢査に努めて居るから故障があるといふ迄で列車事故はまだ起らないけれど此上永く寒氣が續いたら顚覆又は脫線の椿事出來せんも測られずと一般に憂慮されて居る何にしても嚴寒の斯く迄に永續するは此の數十年來曾てない事で一昨年の烈寒は一時的であつたが客臘から新年へかけての寒さは恒久的なので其丈け各方面に影響し總て不自由と困難を與へて居る若し此の嚴寒が猶ほ十數日も繼續したなら種々の事故發生し商業上其他に甚大の打擊を蒙る事であらう（大連）

# 春場所大相撲懸賞

東京大相撲春場所は愈々十二日より開場に付き好取組十番を選び勝負豫想を募集す。

鳳　朝潮　玉手山　大戸平　眞砂石
栃木山　大錦　對馬洋　兩國　宇都宮
黑瀨川　大纛　大鳴門　千葉崎　鬼ヶ浦
九州山　源氏山　綾川　大門岩　駒泉

右十組の取組をはがきに認め勝力士の肩に○、引分に×、預りは△を附す事▲勝負は總て協會發表の勝負附に據る事▲最も多く的中したる者より順次等級を附し賞品を呈す但し同點者多數の時は抽籤に據り右十組の中顚合せなき時は夫れを除去して計算す▲〆切は一月十二日最終便の日附印あるもの▲はがきの表面には必らず京城太平町京城日報社角力懸賞係と明記する事

**賞品** 一等（一人）銀側時計一個▲二等（三人）反物一反宛▲三等（十人）卷煙草一箱宛▲四等（二十人）福袋（日用品及化粧品入）一個宛

■愈十二日夜附にて締切■

## 神社とお寺と教會

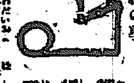
○本願寺朝鮮布教所（大和町通）十三日開教第一週年に付同日正午十二時より布教の檀信徒來合し開教記念大法會を謹修し併せて新年會を催し如月講師の法話ありて酒飯の饗あり共に午後三時より餘興に琵琶及び淨瑠璃の催しある筈

○東本願寺（南山町）十三日午後七時より土曜講話あり

○京城基督敎靑年會（南大門通）十三日午後五時より中央靑年會室内運動場に於て體育獎勵會を開く由

●料理屋組合新年宴 京城料理屋組合は十一日午後一時より松葉亭に於て新年宴會を開催し昨冬以來花柳界の上景氣に迷て人氣立ち頗る盛會なりしと

縱橫隨筆 締切廿一日 發表廿二日



■課題及び募集規定は欄外にあり

■欽め畫新題 此度の欽め畫新題は左記の線に隨意に描き足して何んでも一ッの畫を作り上げるので、應募規定は從前の通りハガキ大の紙の事

●娼妓に溺れて盜み 京城大和町二丁目居住秋田縣秋田市上中城町生れ……衣類二點（六十圓）を竊取し明治町の……に捕へられ本町署の刑事……

# 商況

**東京公債直取引**（十二日前場）

| 五分利 | 九四、七〇 |
|---|---|
| 四分利 | — |
| 五分四分 | — |
| 甲號 | 九四、六〇 |

**深川在米特電**（十二日現在高）

| 内地米 | 九六、〇七三 |
|---|---|
| 朝鮮米 | 七二、二七〇 |
| 臺灣米 | — |
| 計 | 一、五三三、六四五 |

**東京期米特電**（十二日前場）

| | 三月限 |
|---|---|
| 寄付 | 七、六六 |
| 高値 | 七、七六 |
| 安値 | 七、六七 |
| 止め | — |

**大阪株式**

| 銘柄 | 拂込額 | 十日後場 | 十一日前場 |
|---|---|---|---|
| 宇治川水 | 五〇、〇〇 | — | — |
| 神戸電燈 | 五〇、〇〇 | — | — |
| 京阪電鐵 | 五〇、〇〇 | — | — |
| 和歌山電 | 三七、五〇 | 九六、七〇 | — |
| 合同紡織 | 三〇、〇〇 | — | — |
| 鐘淵紡績 | 三七、五〇 | 一三五、〇〇 | 一三一、五〇 |
| 同上新株 | 三五、〇〇 | 一九、一〇 | 一九、一〇 |
| 東洋紡績 | 三五、〇〇 | 一二四、五〇 | 一二四、五〇 |
| 大阪商船 | 五〇、〇〇 | 一二一、一〇 | 一二〇、〇〇 |
| 日本郵船 | 五〇、〇〇 | 一三二、七〇 | 一二四、二〇 |
| 大阪米穀 | 五〇、〇〇 | 一四〇、一〇 | 一三四、八〇 |
| 東京新株 | 一三、〇〇 | 一五九、四〇 | 一五三、三〇 |
| 大阪新株 | 二五、〇〇 | 二八一、〇〇 | 二八二、二〇 |

**大阪三品特電**（十一日後場）

| 限月 | | |
|---|---|---|
| 一月限 | 一八〇、四〇 | 一八〇、八〇 |
| 二月限 | 一八〇、八〇 | 一八〇、七〇 |
| 三月限 | 一八〇、六〇 | 一八〇、九〇 |
| 四月限 | 一七九、〇〇 | 一七九、九〇 |
| 五月限 | 一七八、五〇 | 一七八、五〇 |
| 六月限 | 一七八、八〇 | 一七八、五〇 |

**大阪期米特電**（十二日前場）

| | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 當限 | 一五、九六 | — |
| 中限 | 一六、一九 | — |
| 先限 | 一六、二六 | — |
| | 止め | |

**下關期米特電**（十二日前場最後朝正米讀賣り押目買）

| | 寄付 | 高値 | 安値 | 止め |
|---|---|---|---|---|
| 當限 | — | 一六、四五 | 一六、四七 | — |
| 中限 | — | 一六、四六 | 一六、四三 | — |
| 先限 | — | 一六、四四 | 一六、四四 | — |

**雜報**

●銅價漸落の眞相 初春來銅價は下落一方に傾きしのみか一時銅徵發令の中止されしなど何れも原因不明なりしが最近ロンドンより入電ありて英國政府の徵發令の發布に基く……

●銅徵發令を發布 ……

●價格を抑壓するに基く……

●砂方の暴落 ……

●麥酒空瓶突飛 ……

一七八厘に過ぎしもの此頃一錢乃至一錢二三厘……突飛を演じ……約二十萬本……内外のものが俄然内地筋の手に依て買浚……

●思惑者生じたる 島に工場を建設する事となり……同地輸出に全力を注ぎ本年需要期に對する活動準備……青島對上海輸……

# 下關相場

▲朝鮮白米は……

▲大豆は……

利 森仲買店 仁川米豆取引所仲買人 本宅電話八六二三五番 店電話三五〇番

# 各地商況

◎木浦（十日の穀物）……

▲正米（保合）……

| 新穀糯大豆 | 十一圓二十錢 |
|---|---|
| 同 | 十一圓二十五錢 |
| 麥 | 十一圓三十錢 |
| 元山大豆 | 十一圓十五錢 |
| 同 | 十一圓八十錢 |
| 同 | 十一圓九十錢 |

# 仁川期米

▲十二日前場 天候晴天

前寄十六圓九十錢 昨止より四錢安の入

電二節九十五錢

移りに……

# 前場焦げ付き

# 市場零聞

# 大阪の急激なる瓦落

反て後日の立直り見越

▲前場の手振

⊕能く賣る

# 仁川米豆取引所

十二日の三月限

| 前場 | 寄付 | 十三圓一丁 |
|---|---|---|
| | 止め | 十三圓一丁 |
| | 高値 | 十三圓二丁 |
| | 安値 | 十三圓一錢 |
| | 出來 | 一萬七千石 |
| 平均値段 | 一節 | 十三圓一丁度 |
| | 二節 | 十三圓一丁度 |
| | 三節 | 十三圓二錢 |
| | 四節 | 十三圓一丁 |
| | 五節 | 十三圓一錢 |

# 北濱だより

▲氣迷ひと商内薄

# 硝子器更に昂騰

# 比較的商談

# 三割高

# 金屬製及大形物の賣行き大に減退

三割方の暴騰 高値に當り實に五六割の

# 絹地一割半乃至二割高

綿繻子約三割

# 洋傘三割高

昨年初端に比し約

# 出筋對抗の兆

瓶の昂騰と先高を見越し

# 京城正米

# 南大門の廻穀

一二十錢安

# 仁川現物市場

# 生魚市場

三巴仲買店 仁川米豆取引所仲買人

# 大阪この對照

九十錢切の反動と多少の押目は豫期 棒立ち高値より六十

三錢切の暴落を報じ

値々二十錢切

押に過ぎなかつた

有力な差値の買物

復初立會當時の三百九十五六丁

▲今能く賣る

▲能く買ふ

⊕下の商内

▲市場閑散

▲腰弱連の投げ退き

一順二圓臺

# 演藝案内

壽座 京城壽町 電話五七八番

御成座 御成町 電話二九一

稻荷座 本町五丁目

浪花館 明治町 電話二六〇

大正館 櫻井町 電話八七三

黃金館 早川直營 電話二六三七

東京小松 ぢの薬

痔疾一切重症の●脫肛●痔瘻●現狀の儘治す不思議の妙藥 家傳 有「ハガキ」にて申込ば病原理由自宅治法の詳細說明書冊無代進呈す 東京京橋疊町一 小松森林堂本家 全國各藥店有小松痔の藥指命乞ふ

質 堀佐營業所 京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入） 電話六三九番

製造元とのやくそくで
砂糖、麥粉、寒天、金巾、燐寸、石油、洋蠟、鍋釜、紙、乾物、鑵詰、ビール、サイダー、葡萄酒、清酒、醬油、染粉、足袋、其他日鮮人向雜貨食料品
割の安い品そろいの
大おしろ店
仁川本町
河野本店 電話二八一番

タカヂアスターゼ

高峰博士創製の本劑は從來北米及英國にて製造の品を販賣し來りたるも今回本邦に其工場を設け純國產品となれり 類似模造品を本劑と同一强度又は同一効力ありと稱し販賣するものあり注意を乞ふ

本劑は粉末及錠劑の二種あり 本會社發賣のタカヂアスターゼは總ての胃腸患者に賞用せらるゝ殊に本邦人に最も多き消化不良症に起因する諸症に用ひて卓効を奏し從つて能く其榮養を增進す

東京室町 三共株式會社

報告と御禮

弊店は去る十一月中の賣買出來高に於て取引所開始以來各仲買店に未だ曾て見ざる壹百弐拾九萬六千九百石てふ巨石を以て第一位を占め續いて大正五年下半季に於ては是又未曾有の出來高を以て第一等賞を得たるに去る十二月中に於て壹百三十四萬三千七百石てふ前代未聞の新記錄を以て第一位を占め申候

賣買高▲飛行機▲弊店は昨年末帝國飛行協會に對し飛行機製造費金壹萬圓寄附の申込をなし今回之を受領せらるゝ事となり是れに依りて製造する飛行機は曾我號と命名せらるゝ事に決定致し候是は店主が平素より微力ながらも何か國家に有益なる事業に貢獻する所あらんとの希望の實現に外ならざるもの……

大阪堂島米穀取引所仲買人 曾我一郎商店 電話北長二四八番 二四九番 一二五〇番 二五一番 一二六六番 西の宮一八二番（本宅）

醇良無類清酒 無害衞生 品質無双 有薰 醸造元 福岡縣城島町 首藤合名會社 發賣元 京城府黃金町二丁目 首藤京城支店 電話長一一七一番 釜山港幸町 首藤釜山支店 電話三四三番

礦山營業 礦石買入 重石買入 ▲鑛物定量分析▲鑛山測量製圖 京城鍾路二丁目九九番地 金石商會 電話一八九九番

# 明君道中記

第二十七席　田邊南龍口演

家康公榊原內記の肩を杖にして緣へ出で　家『如何に蛙能く承はれ、此の家康は幼年の砌より天に誓ひ必ず、道理なき事は云はぬ、我今日老病に冒され天下の大事を議せんとするに當り何分にも汝等の聲が耳に逆ひ議すること叶はん、暫し音を止めい』と仰せられました、スルト今までガア〳〵啼いて居りました蛙がパッタりと音を止めてしまつた。是が後年に東照宮と云つて神にお成り遊ばすだけあつてそこに不思議がある、源の牛若丸は鞍馬山に於てかしましや鞍馬の山の轡虫しばし音を止め法の聲聞け、と云つて虫の啼く音を止めたといふことですが、今以て駿府の內濠の蛙は決して啼きません、外濠へ出すとガア〳〵と啼く、又內濠へ入れますると啼きません、是も一つの不思議でございますが、蛙の音が歇みましたから元のお床にお戾りになり茲に秀忠公に對して百ケ條の御遺言狀と云ふものをお遺しになりました、是は家康公德川のお家御子孫のことを思召して段々お考へ遊ばして認め置いたるもの、德川家繁昌の時に御寶藏に入つて居りました大切の書物で、家康公百ケ條の御遺言と云ふは容易ならざる御苦心の上に殘されたものでございます、其明細なる箇條を一々申し上げるとクド〳〵しうございますから是は略します、右の百ケ條を家康公は秀忠公にお授けに相成り將軍家も謹んで是を拜見いたす、其後金地院の崇傳南光坊天海本多上野介等を御前へ召されまして　家『予が死去いたしたる後は我が骸は久能山へ納め廿會は江戸の芝增上寺にて執り行へ、靈牌は三州大樹寺に差送ります樣、一周忌濟んで從日光山へ小堂を營み祭典をいたす樣、都は南禪寺の地中金地院へ堂を建て所司代以下武家の輩を參拜させよ』と細やかに仰せられ猶亦都築景明を御前へ召されまして三池典太光世の鍛へました二尺三寸の御刀を取出して　家『其方此刀を持つて參り町奉行彦坂壹岐守光正に相尋ね罪人の內死刑に極つた者あらば本胴を試して參れ　景『委細承知いたしました』と御前を立うとする時に　家『コレ〳〵景明、相尋ねて死刑に極つたる者無之時は試すには及ばんから左樣存知ませい　景『畏り奉りまする』と御前を立出ましたが、暫時經つて右の劍を持つて御前へ出で　景『恐れながら光正に相尋ねましたる處死刑に決しました者有之其者を引出し本胴を試しましたが、切味美事にて、土壇まで落ちましてございまする』と言上いたした時に家康公もお喜びになつて件の典太光世の一刀の鞘を拂つて右手にお持ち遊ばし、二三度此をリウ〳〵と打振り　家『我が一念は此の劍に止め、此を以て德川の子孫を守護いたす依て久能の神廟に納め置きまする樣にと、御遺命があつた。景故後に久能山へ納め尖端を西の方に向けまして斜めに立掛けてあります其後榊原內記を召されまして　家『汝は常々我を介抱いたし洵に嬉しく思ふ、我命終つた後は方の祭りを快く受けろ、就ては東國は譜代の大名多くいたして安心であるが、何分西國の大名は油斷が出來ぬ、故に西國鎭撫の爲我軀を西向に安置いたさせる汝祭主と相成り社僧四人出役をいたせ、祭典料として四千石遣はす、其方には別段千石を取らする予が死後は能く讀をいたしてくれよ』といふお言葉がありました。其後秀忠公を召し續いて義直、賴宣、賴房といふお三方を御前へ召され、猶亦江戸表より父上と御同道なされた竹千代君國松樣御兄弟まで殘らず御前へ召されました

外科一般 皮膚科 花柳病科 泌尿器科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院 電話四一九番

本町一丁目三越向電話一〇四七番
齒科診療 野田齒科醫院
齒科醫士 野田鑑治

京呉服
京都 たまや出張店
永樂町二丁目 電話一一八九六

一月十四日 九星
舊十二月廿一日 丙辰
本命八白 艮 平 友引

▲八白。困苦を生ぜんとす 新事見合東方は吉略鍛良 ▲九紫。果報よき日轉居入學金件 名弘家作求職 探 嫁娶開業等 皆吉▲一白。不案配の事有る日新事手控萬事は吉 買物に用心せらるべし▲二黒。必外の事有る日新事手控萬事は吉 商散財を防がるべし▲三碧。損にさわる事多き日新事手控萬事は吉 旅て爭ひ起す勿れ▲四綠。賢追主義の事有る日 新事手控萬事農職は妨なし▲五黄。有難迷惑の事有る日新事 手控萬事は吉一切のせわ事せぬがよし▲六白。開法の日 轉居開業入門名弘求職 出陣婚禮 訴訟の和か計る吉 萬吉▲七赤。大利の日轉居行 商入學名弘求 職 出船婚姻 農造栄等 萬吉

病者 るいれき
ウヒヽアゴ下●耳のウシロ●ワキの下●ハラ●モヽ●等にグリグリができ又永年の重病、ギラズにハレを去り安全に治す良藥あり困難の方はハガキにて申込め無料通知す
▼兵庫縣明石東本町 長井家

京城一流 家具 本町三丁目 増田本店

長壽 日助は
ヨーグルト
荒井の牛乳
京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一〇〇四番

▲山縣五十雄 村上唯吉共著
富の道しるべ 價十五錢 郵税二錢
京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

三和高麗燒は宮內省御用の光榮に浴したり
香爐 花瓶 香盒 茶器 菓子器其他種々
三和高麗燒 特産 鮮海老の精
海老の精は(風味佳良、滋養分豐富にして貯藏久しきに耐へ御土產として絕好の珍品に御座候)
朝鮮鎭南浦
三和高麗燒元 海老の精發賣元 富田商會

ハカリ印
油斷大敵!
かぜは萬病の基で決して油斷は出來ないのである。之を打捨て置けば往々チブスや肺炎に變症して後悔する事となる故にかぜは勿論熱病に罹られたる諸君は速かにハカリ印のヘブリン丸を服用して熱を解き全快せらるべし。

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
酒井婦人病院
入院隨意
電話二六〇一八番

醫化學諸器械一式
(K)
仁川本町 北島藥店 電話三四・振替京城六七番
京城永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番

藥種賣藥卸商

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗
サクラ正宗
京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話八四一番 四五九番 振替京城五七番

御料御園白粉

訪問接客と御園白粉

年始の廻禮、客設け、芝居見物、其他歌留多會等の場合、すべて御婦人方の初春のお化粧は、粧けて高尚に化粧保ちのよい濃化粧に限ります、それには先づ濃化粧專用の白粉下御園の蕾の極く少量を、斑點のない樣に襟から顏にかけて丁寧に擦り込みまして、次に襟白粉には濃化粧用の御園固煉白粉を化粧水御園の露に溶かして附着け、顏の化粧には普通の御園煉白粉を用ひて、其上から粉製御園はき白粉を備へ附けのポット刷毛か又は鼻叩き刷毛にて全体に刷き附けますと、御化粧斑を修補つて一倍美くしい生彩を現はします。

美くしいお化粧も時間經つに連れまして御化粧崩れのする時が御座いますが、御園紙白粉さへ御用意遊ばすと、極く容易く御化粧崩れを直す事が出來ますから至極御安心です。御園紙白粉は紙質が丈夫で香がよく、皮膚を毫も荒らす事なくして浮脂が容易く除れて美くしく御化粧直しが出來ますから、御訪問の節とかお芝居見物等には片時も肌身放せぬ御化粧料です。
(御園紙白粉 定價金十五錢)

御料御園白粉本鋪 伊東胡蝶園
御料御園白粉發賣元 丸見屋商店
(229)

第三版

下關期米特電 [illegible]

▲後場の手振 [illegible]

▲④能く買ふ [illegible]

十二日の三月限 [illegible]

# 京城日報

一月十三日（夕刊と合せて八頁）

本紙定價 一部金五錢 [illegible]

廣告料 ▲五號活字十六字詰一行金八拾錢 ▲二號活字八字詰一行金[illegible] ▲三號活字 [illegible] ▲六號活字廿一字詰一行金七拾錢 [illegible]

發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 小川三之介

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

電話番號 編輯[illegible] 營業[illegible] 振替貯金口座京城三〇〇番

## 京城日報　日支關係

今日、日支兩國民、相共に、日支親善の必要を唱和す、而して猶ほ兩國間に外交上の、交渉事件を絶たず、時に紛爭を重ぬることあるは、畢竟兩國民間の、事物錯雜を極むる爲めなり。其關係の密通なるは、則ち交渉事件の、頻々たる所以なるべく、交渉事件あるは、これ無きに若かず、其のこれ有る場合に於ては速かに之を解決して、其の繋累を、長引かしめざるに若かざるなり。最近、我帝國政府が、鄭家屯事件に就て、急速解決の、方針を取りたる、精神亦實に此に存す。

日支兩國は、固より親善の關柄なり。特に今日のごとく、歐羅巴諸國は、大戰役の爲に、忙殺せられて、東洋の事に其力を致す能はざる場合にありては、日支兩國、互に相結びて、共働的活動の實を、擧ぐるを最も肝要なり。眼前支那は、外債に依りて、其財政を、整理せざるべからずと云ふも、北米合衆國は、政治借款に於ては、干與せずと稱し、歐羅巴諸國は、政治借款を、商推するの志あるも、軍費及び、軍事經濟に是急にして、支那に投資するの、餘裕あるべからず。結局我日本に依りて、之を調達するの外なきなり。

且支那財政の、基礎を固くし、及び其國民の、富資を増益せむと欲せば、先つ其國内の、産業の開發を、圖らざるべからずして、是れ亦、資金及び、企業能力を、我日本に求めざるべからず。支那人は動もすれば、輙ち外國人の投資、及び企業を目して、其利權を奪ひ去るものと、爲すがごとくなれども、是れ、誤解の甚だしきものにして、支那に鐵道を敷設するものは、何れの國の資本に依り、何れの國民の設計、施設に由るにせよ、其交通經濟上の利益を、享くるものは、支那國民に外ならず。鑛山の開掘、製造工場の設置の如き、亦直接間接に、支那國民を利せざるはなきなり。往昔北米合衆國は、土地廣大なれども資本乏しく、産業興らず、荒寒、殖民地の體貌を脱せざること久しかりしも、歐羅巴人の資本入り、企業起りて漸次其天賦の富資を開發し、此に世界第一の富國を成したり。其の既に富めるの、後にあるも、猶ほ米國民は英佛獨諸國に對して、債務者の地位に立ち、千九百十四年八月歐洲大戰役勃發に際しても、英國に對しては債務百億圓に上ると稱す。然るに此戰役中、米國の歐羅巴に對する輸出超過は、既に百億圓を越ゆるのみならず、高利公債を引受くること、二十億圓以上に達せるあり。彼は債務國より一轉して、債權國の地位に移りたるの實あり。支那は果して、北米合衆國の例を以て、之を擬すべきや否やは、別問題として、支那に於て、其經濟的發達を求むるの要は、外國の資本を入れ、外國人の事業を、發達せしむるにあり。而して其事は、日支兩國間の、親善を全くして、其一切の、紛爭の種子を除き、相互に隔意なく、共働相助の、實を擧ぐるにあり。幸にして、鄭家屯事件のごとき、厄介問題にして、解決せらるゝあらば、即ち是れ、此に其端を擧ぐるものたり。

## 朝鮮人風俗改良の急務

警務總監部警視　松井警視談

我同胞たる朝鮮人の開發に關しては心ある人々の等しく意を用ふる所なるが就中風俗改良の最も急務たるは識者を俟たずして首肯し得べき問題なりとす固より幾十百年の歴史を有し固有の習慣は根柢深く牢として拔くべからざるものあり而も時勢の推移は之を根本的に改良するの機運に達し居れるが故に鮮人たるものは貴賤の別なく貧富を論せず一大決心を以て上下一致擧つて全力を傾注し目的の達成に努力せざるべからず我輩が風俗の改良と稱する點は全部を列擧するに於ては甚だ廣潤なる範圍に及び到底其の煩に堪へざるを以て其の主要なる點に付以下少しく卑見を述べんとす

### 冠婚葬祭

▲冠禮　冠禮は婚約の成るを俟ち婚禮に先だち行ふを普通とす極めて低級社會又は極貧者に在りては婚約に拘らず冠禮を行ふことあるも稀有のことに屬す冠禮は吉日を撰擇して祖先を祭り祠堂に告祀文を捧げて親族及び知己を招待して飲食を饗し衣服を新調して容儀を整へ其日より兒名を廢して冠名を稱す結髮に際しては諸種迷信的の施設を爲すも茲には省略す要するに冠禮を行ふに當りては廣く招待狀を發し賓客の多きを以て誇りとするが故に地位資産の程度に應じ費額一定せざるも下層民と雖も三十圓内外より上流者に至りては二百圓若くは其れ以上の費用を抛つものあり

▲婚禮　婚禮に至りては冠禮に數倍の費を投ず其の金額の如き階級又は貧富の差に依り一定せざるも先づ中流階級に於ては新嫁たるものは自己及び新婿の衣類を新調する如き隨分巨額の費用を要す婚姻式當日の如きは新郎新婦は素より双方の兩親若は親族從者等は盛裝を凝して式に臨み諸種迷信的の禮儀を行ひ時に噴飯に値ひするものなきにあらず而かも之に要する費用を綜合すれば驚くべき巨額に達するに至る素より當事者に於ては豫め其痛苦たることを自覺し居るも風俗を成せる四圍の情況は家格若は地位に相當せざる消極的の設備を以て臨むことを得ざる事情あり他面に於ては虚榮心に驅らるゝ婦女子等の希望に制せられ已むを得ずして苦痛を忍び費用を支出し居れる情況なるを認むる場合あり

▲葬儀　葬儀は朝鮮古來の習慣として一家四禮の一たり故に最も重要なる儀禮に依て之を行ふ勿論長上を敬するの意味に於て鄭重なる儀式を用ひ死者の亡靈を慰むるは遺族の義務にして當然のことに屬す然るに現時の情況に想到せんか其の甚だ矛盾せる點を發見するに難からざるべし一例を擧ぐれば葬儀の如き極めて華美を好み中流社會に於ては造花、鳥、花輪等の人目を惹くべき者多數を誇り葬具は何れも美麗なる裝飾を施し葬儀に列する者は數丁に亙て連續し人力車の如きは自動車あり馬車あり交通の妨害をも顧みず之が爲め莫大の費用を要し時に不動産を放賣して費用に充當するものあり其の結果最後に於ては一家の經濟を破り生活難を訴ふるは未だしも糊口に支障を生ずるものさへあるに至る是等は死者の靈を慰する程度を越ゆるものにして思ひある遺族の義務にはあらざるべし我等をして言はしむれば死者に對する尊敬の意味を表するは宜しく精神的ならざるべからず徒に多額の費用を支出して一家の浮沈を念頭に置かざるが如きは眞に亡靈に對する途にあらざるべく況んや一郷一邑の人力車を全部借り上げ交通上の不便を來すに於てをや

▲祭禮　祭祀の禮は五代の祖先迄を範圍とす祖先崇拜の風俗より馴致せしものなれば何等之を嫌忌するの必要なきが如きも具さに其の内容を採るに於ては之を改良するの甚く切實なるものあるを認めらる今祭祀の種別を列擧せんに小祥祭、大祥祭、卒哭祭、朔望祭、忌祭、四名日の祭、六月流頭日等に分たれ就中朔望祭の如きは成服の日より卒哭祭の期間迄に過ぎざるも毎月一日十五日の兩度に祭祀を行ふが故に之を五代の祖先に遡るときは祭祀度數の甚だ頻繁にして煩鎖に堪へざるを認む而して祭祀に際しては祭の種別に依り厚薄一定せざることあるも諸種の飲食物を提供し且己の親戚を招待す而かも婦人の如きは祭日に轉々往復して酒食を食るを樂みとする爲に甲乙爭ふて費用を投じて美酒佳肴を誇るの弊風あり如斯は祭祀の眞意義は沒却せられて一種の飲食道樂と何等選ぶなきの觀を呈す吾人が改良の餘地ありと述ぶる所以茲に存す

### 家庭

由來朝鮮人は自尊の念薄く一門縁者中に勢力ある者又は富裕者あれば之れが門に集り無爲徒食悠々自適して之を恥とせず獨り親族縁者に止まらず食事期に於ては他人と雖も食筵に居るものに對しては食事を爲すの風あり故に廉恥心なき徒輩は殆んど蝟集して醉生夢死の境遇に彷徨するの弊あり一家族のみの分とすれば一箇年二十圓内外の糧物を以て事足るべきに數百圓を費して多量の副食物を用意する等家政上甚だ困難を感ずるものなきにあらず又中流以上に在りては女中の如き上女中あり下女中あり更に上女中の内に母堂附あり夫人附あり家格に應じ三人五人七人を要し此女中は各人別に自己の父母若は子供甚しきは其夫等を主家に出入せしめ飲食せしむるが故に雜費は非常に嵩み一箇月少なきも三百圓多きは五百圓若は其れ以上の生計費を要するに至り外見極めて富裕なるが如くにして内心最も困難を訴へ結果遂に破産の悲境に沈淪するもの尠からざる狀況なり

### 衣服

下層民の著用する木綿衣服は別とし中流以上の衣類に至りては最も不經濟なり特に婦人の著用衣服は一見優美なりと雖も洗濯に適せざる布帛多きを占むるが故に割合に高價にして實益の伴はざる憾あり是等の地質は多くは各地よりの輸入品に係り所謂自作自給でふ念慮に至りては殆んど認むることを得ず又衣服調製法に改良すべきものあり地質の選擇と共に研究改良すべき點多々あるを認む以上は殆んど其の梗概を述べしに過ぎざるも要するに支那式の輸入に係り因襲の久しき茲に風俗を成すに至り合併以來稍改良せられし點あるを認むるも尚之を根柢より改良するの急務を認め居れり目今朝鮮貴族中に於ても一二の吾人と其の見地を同ふし適切に其の改良の必要を絶叫し居れるものなきにあらざるも半島一千五百萬の民衆をして一齊に自覺せしめんとせば更に進んで血氣に富める青年若は有力者が率先して其聲を大にせざるべからず然らざれば鮮人中の中層階級以上は漸次其地步を低下して悲慘の狀態に陷り一面に於ては獨立自尊の氣風地を掃ふに至り將來救ふべからざるの大患を貽さずんばあらず我輩は最も切實に感ずる所あるを以て新年劈頭ながら聊か卑見を陳べたる次第なり

## 「大正の青年と帝國の前途」を讀む（十四）

十二月十二日上海に於て　大谷光瑞

古の學に志すや否らず、期する所、濟世にあり、身榮を覬はざるに非ざるも、望む所は、國家の隆盛にあり。今は之に反せり、國家の隆替、關する所に非ず、唯是一身の富貴にあり、濟世の如きに至りては、其文字すら解釋し得るもの少れなり。是れ學を汚すの罪人なり。蓋し青年素より罪あり、然れども彼等弱齡、志操堅からず、若是を善導せば、必ずしも盡く國家の蠹害たらしめず、故に之を導くの人は、導かるゝの人より、更に重責あり。水は渠に從つて左右す、馬は御の欲する所に行く、今獨り青年を責むるは、水と馬を責め、渠と御を忘るゝなり。故に云ふ、今日の蠹毒は、所謂識者と、商賈の富人にあり、是の兩者に對し、峻嚴を持し、其過を改めしむるに非ざれば、青年の墮落を救ふ能はず。今其の害の由て來る所を窮めず、唯教育、宗教の力を假て、是を救はんとす、宛も冬天戸を明て爐に炭を熾にするが如し。炭火熱ならざるに非ず、霜風刀の如きは、之を防ぐ能はず、加ふるに耳目の觸るゝ所、盡く誘惑に非ざるなし、年少弱質、焉ぞ剛腸あらんや、故に敗れざるもの少れなり。夫楊柳は横に之を樹うるも生ず、倒に之を樹うるも生ず、折つて之を樹うるも生ず、然れども十人をして樹ゑしめ、一人をして之を拔かしめば、則ち生せず、生じ易きの物を樹ゑ、十人の衆を以てして、一人に勝たざるは何ぞや、之を樹うるは難なり、之を拔くは易なり。然るに今教育、宗教の力に由て、之を樹うるは一人にして、之を拔く者は、百人に及べり、樹の生せざるは宜なり。故に云ふ、其本源を窮めずして、末を事とする如きは、徒勞に過ぎざるなり。先其蠹毒を去つて、而して青年を訓育せざるべからず。如此くせば、楊柳豈生せざるの理あらんや。然れども今の教育、宗教又罪なきに非ず、教育、宗教は善にして、惡に非ずと雖も、病に應じて藥、毒となり、毒、藥となる。今日の病果して、今日の藥を以て、適せりとなすか、頗る疑ひなき能はず。杉浦先生は、教育勅語の解釋者を指して、『動もすれば狹義に偏し、六合に彌る可き規模廣大なる勅語をして、徒らにマツチの箱の中に押入れ、世界を家とする大帝國民の精神を涵養すべき、聖旨を蹂躙し、却て三家村裡の郷愿を製造し、爲に此勅語をして、殆ど維新興國の精神と沒交渉ならしむるが如き結果をさへ呈したるが如き姿ありしは、吾人が頗る嘆惜したる所なりし也』と云へり。不肖亦此嘆なき能はず、是れ十四吋の巨砲に内膛を作り、三斤の彈を發するが如し。

## 日報詩壇

○丁巳新年口號　岩本耕石

瑞雲祥靄入三元、椒酒掛頭頌聖恩、聞說西歐猶戰亂、蓬瀛波靜別乾坤。

評曰　佳氣生于紙上

○同　上　直井耿響

碧海波平白鶴翔、祥雲橫處上朝暾、三千里外雞林客、恭向東天拜聖恩。

評曰　雍容穩句

○同　上　笹島紫峰

翠竹青松交掩門、人間何取布衣尊、北堂八十身猶健、斑綵奉觴兒與孫。

評曰　樸茂醇正

○同　上　西田白陰

皇統連綿帝德尊、祥光瑞氣滿乾坤、微臣銘膽力條旨、一劍惟將答聖恩。

評曰　正是日本男兒之精神

○同　上　田淵黍州

扶桑初旭曜東天、又是雞林起瑞煙、回首西歐酸鼻裏、新粧鼓腹入新年。

松竹青青旭旆翻、千門萬戸入新年、皇恩已遍三韓地、引領瞻望東海天。

評曰　太平景象宛然在目

○同　上　安東翠雲

韶風吹暖賀正筵、椒酒三杯意陶然、松竹掩門籠瑞氣、梅花含笑頌新年。

金雞喔喔報清晨、曙色纔催萬象新、風不鳴條大地靜、屠蘇徐醉太平春。

評曰　春容和雅

○同　上　竹田蕉雨

松筠靄靄帶祥光、春色盈門喜滿堂、椒酒三杯堪獻壽、旭旗翻[illegible]聖恩長。

評曰　和且平是自然之音也

**東京藥學會**

藥劑師　或は製藥家となり雄飛成功せんと欲せば速に入會せよ　此際入會特典提供

□藥劑師に非ざれば藥業に從事する資格なし藥業志望者は必ず藥劑師となれ

□藥劑師となる近道は本會に入會し本會は通學の餘暇なき者に業務の傍其目的を達せしむ

會員募集　八ヶ月卒業

講師　村山藥學士 有賀藥學士 神谷藥學士 小島藥學士 大河藥學士 稻田藥學士 望月藥學士 外專門大家

講義錄　限學說最新內容豐富なり付修得容易也

見本 會則申込次第進呈

東京神田表猿樂町二十五　東京藥學會

昨秋來木材類（原木板材挽材小割）共鴨綠江産及び内地産共價格漸次昂騰致候に付當地組合販賣價格從來の値段より一割五歩値上げ致候間此段謹告仕り候也

大正六年一月

仁川木材商組合

二月號　**トモダチ**

文學士寺田精一先生監修

美しい繪と面白い教育お伽噺滿載　特別大懸賞あり

附錄（手工）八と狐の早かはり　全國書店にあり

一冊十二錢 郵稅五厘　六冊郵稅共七十錢　十二冊稅共一圓四十錢

東京麴町富士見町一 葉社　振替東京三二六三　電話番町四〇五八

□品質本位の　**染料出づ!!!**

戰亂の餘波粗製濫造の混沌たる染料界に

獨り品質の優良

色澤の鮮明を誇る

德國洋行の染料出づ乞ふ之を實證せられよ

染料顏料廠　德國洋行

代理店　德高洋行　京城永樂町二丁目　電話長一三一一番

朝鮮總督府囑 普成法律商業學校講師　西村眞太郎著

**朝鮮語會話**　定價金八拾錢　郵稅六錢

受驗者必携の資料●袖珍總クロース四百頁頗美本

江湖の大歡迎大好評を受けたる本書は今や再版壹萬部を賣盡し尚要求盛なるに付改訂大增補を行ひ三版發賣するに至れり朝鮮語の智識は本書に說き盡して餘蘊なし特に受驗者に採りては最親切なる解說者たり是非一本を供へられよ

賣捌所　京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

大取次　大阪屋號　日韓書房　巖松堂　各地支局書肆

**廢品被服拂下入札**　春川憲兵隊本部

古品夏物、冬物並ニ防寒用被服

右賣却ス詳細ハ一月十三日朝鮮總督府官報及憲兵隊本部揭示場ヲ見ヨ

競爭入札　**購買**　朝鮮總督府遞信局

一、共電式案內臺壹臺

詳細一月十二日ノ本府官報ニ依リ

**最新刊**

| 書名 | 著者 | 定價 |
| --- | --- | --- |
| 當世百道樂 | 堀內新泉 | 一、二〇 |
| 用家事精義 | 大江スミ子 | 一、五〇 |
| 殖産と石灰問題 | 田所哲太郎 | 一、三〇 |
| 孔子及孔子敎 | 服部宇之吉 | 一、七〇 |
| 訓釋本朝名家詩文 | 岡田・佐久 | 一、五〇 |
| 論語講義 | 三島毅 | 一、二〇 |
| 日蓮聖人の孝道 | 磯野本精 | 九五 |
| 大正五人男 | 村上浪六 | 一、二〇 |
| 安心生活 | 椎尾辨匡 | 一、三〇 |
| 成功の經路牛の如し | [illegible] | 四五 |
| 大正和歌の作り方 | [illegible] | 六〇 |
| 新モンロオ主義 | [illegible] | 一、〇〇 |
| 新撰日本皆名家年表 | [illegible] | 二五 |
| 家庭繁榮七福神の事業歷物語 | | 三五 |
| 投入盛花寶體百瓶 | 小林擧州 | 一、五〇 |
| ペン手書と樂書の書方 | [illegible] | 八五 |
| 小說つきぬ涙 | 篠原嶺葉 | 六〇 |
| 法律問答 | 坂上[illegible] | 四〇 |

京城本町二丁目 電話二〇八六番 振替京城一五七三番　大阪屋號書店

**京日案內**　普通 一回前金五十錢　番外 一回前金一圓

確實有望雜貨化粧品特約店歸國に就き至急權利共居拔の儘讓る（姓名在社）42

▼古本と古樂器は是非共信用出來る本町二ノ電二五二七ウツボヤ書店 39

◎寫眞修整技師一名募集希望者見本送れ　安東縣 菅原寫眞館 43

外科及調劑に經驗ある看護婦至急入用　希望者履歷書携帶來談　京城長谷川町 安東病院

◎永町一丁目三三元福井舖跡を居拔の儘格安にて至急讓渡し度し希望の方御來談被下度し 35

番外

**店員採用**　敏活の青年にして海運業及各種代辨業に就職希望者は履歷書携帶來談あれ 但市内二名の要保證人 姓名 仁川支局 48

**解雇**　店員 松岡良平　右者今般解雇致候間今後當店に一切關係無之候　京城本町一丁目 大和軒 22

◎京城春川間自動車賃金片道四圓 毎日午前八時卅分出發　南大門通一丁目 廣橋自動車組 電話二一九番 主務 金正淵 4

◎京城春川間 乘合自動車 賃金片道四圓 京城水標橋通り電話二三八番 ◎春川發前八時 京春自動車商會 支配人 松田壽男 2

**恩給年金**立替　利子年一割　即時取引 退隱料一切千圓以上別契約　京城櫻井町一丁目 元祖（大正館向）博多屋本店 7

**年金**　恩給低利立替 特別長期 全額秘密　**即時**　京城永樂町一丁目　江州屋本店 16

◎**礦物定量分析**　太平町二丁目 朝鮮公論社左横小路 電話長三四四　坂元分析所 38

# 對米回答內容

## 駐佛米大使に交附せる聯合側協同回答覺書

十日佛國外務大臣は聯合諸國の名に於て米國大統領の講和提議通牒に對する聯合國の協同回答覺書を駐佛米國大使に交附せり其の要領左の如し

聯合諸國は米國の覺書の崇高なる動議に對して敬意を表するものなり唯現戰爭の滿足なる解決即ち聯合諸國に於て當然要求の權利ある侵略地の恢復損害の賠償及び將來の保障並に歐洲の將來を確實なる基礎の上に置くに足るべき平和が今日直に實現し得べしとは信ずる能はず顧つて兩交戰國を同一視する米國大統領の見解に對しては明白に抗議を提起するものなり蓋ふに此の見解は過去の責任及び將來の保障に關する實際と相反するものにして敵の過去に於ける條約の破棄不法の戰鬪行爲占領地住民の虐待等は世界周知の事實に徴して聯合諸國と敵國とは全然一致せざるものなり、米國大統領は聯合國が戰爭の目的と爲すべき事項を明言せんことを求められたるが此の目的は既に人の知るところにして聯合諸國政府の屢々言明したるところなり而して其の詳細は損害賠償と共に講和商議の際に非らざれば提出するを得ず但し白耳義、塞耳維、黑山國の復奮及既に收めたる佛露等に於ける占領地域より撤退すること並に民族主義及び諸國安全の原則に基く條規に依り保障せらるゝ外寇に對する海陸國境の保障更に人民の意に反し掠奪せられたる領土の恢復外國の羈絆の下にある伊太利スラブ人の解放土耳古の虐政に苦しむ人民の解放土耳古帝國を亞細亞に驅逐すること等は第一に解決を要する喫緊事なり聯合國は決して一部の間に訛傳せらるゝが如き獨逸國民の全滅及び其の政治的存在の消滅を期するものに非ざるは言ふ迄もなきところなり聯合諸國の期待するところは自由正義の本旨に基き鞏固なる基礎の上に平和を確保するにあり合衆國政府の衷心翹望せらるゝところのもの亦實に爰に存するを疑はず聯合國は此の公明なる目的の遂行及文明の將來は一に係りて本戰爭の制勝的結果に存するものあるを自覺し之れが爲め全力を竭し一切の犧牲を甘受する鞏固なる決心を有するものなり(巴里電報)

## 第二講和提議準備

獨逸首相は第二回講和提議の準備中なるが提議と共に講和條件を明示する筈なり(紐育電報)

## 露軍ミタウ第一線突破

其後の諸情報に依るに露軍はミタウの北八哩なる獨軍第一防禦線を全然突破したる事確實なり陸軍當局は獨逸軍が一切の技術を盡して其の陣地に防禦工事を加へ固く之れを支持せんとしたり故を以て此の成功を重視せり當時獨逸軍は新鋭の豫備隊を舉げて喪失したる陣地を奪還せんとし數次逆襲を試みしが終に功を收むる事能はざりき露軍は又等しくシユロツク地方アー河左岸に於ても成功を收めミタウ市を距る四哩なる地點迄前進しミタウ全地方に於ける獨軍に對し包圍攻擊を行ふべき地位を占むる事を得たるを以てミタウ市には恐慌起れり(露都電報)

附記 ミタウは獨露北部戰線リガ南方の一都會なり

## 日支交涉解決と公民會

日支交涉反對運動中なる在北京公民會代表者等は交涉は日本側の誠意ある退讓に依り圓滿解決に決したれば從來執り來れる激烈なる態度を改めよと奉天に電告し來れり(奉天特電)

## 近海の結氷狀況

一昨六日來の寒氣にて仁川港より出……交通し來りしも同日午後二時頃より……可能となり八日朝より警備船第二多喜丸をして碎氷に勗めしめ漸うじて……易船二隻近海航行船二隻は二十餘隻の解船を以て貨物の積卸に從事しつ……船二十餘隻あり目下警備船二隻をして救助に當らしめつゝあり……

……の破損あり貨物の浸水したるもの續……

……火せり原因は火鉢の火が敷布團に落ちて大事及びたるものなりと

……號電車に觸れ轢かれ……害を受けたるも別に異狀なし

●……被害 平北寧邊邑內所在公立……小滿の中に食ひ殘りの屍體を遺棄して姿を晦ましたるが目下驅除勵行中

●猩紅熱 京城蓬萊町一丁目百五十……

## 青木中將傭聘契約內容

青木中將傭聘契約は七箇條より成り年限二箇年々俸三萬五千圓にして職務は總統諮詢及び調査事項一箇年內に二箇月間暇を給する事等にして支那側の調印當事者は總統侍從武官なり(北京特電)

## 張勳密書の內容

張勳の密使は十日北京に到着し大總統に謁見したる上張氏の密書を呈せり其內容に曰く『余は總統を擁護する者なり且國會解散は余の眞の主張に非ず唯國會を恫喝して議員を覺醒せば足れり』云々(北京特電)

## 內田子御陪食

畏き邊にては十二日正午宮中竹間に於て午餐會を催され閑院大將宮、朝香大尉宮兩殿下を始め奉り來る二十日露國に赴任すべき內田大使及び寺內首相、波多野宮相、本野外相を御召しの上御陪食仰付られたり(東京特電)

## 定例閣議內容

十二日の定例閣議は午前十時より內閣に於て開會寺內首相以下各大臣出席九州大學に關する人事一件外罹災救助基金法中改正に關する法律案一件を附議決定し更に對穀食策に伴ふ諸種の政策に關し凝議する所あり正午散會せり(東京特電)

## 教員優遇案

文部省の教員優遇案不日發表せらるべし(東京電報)

## 矢田前總領事代理

前奉天總領事代理矢田七太郎氏は十二日午後八時五十分奉天發安奉線列車にて朝鮮通過歸朝の途に就り(奉天特電)

## 英國銅徵發令

英國政府は去る一月一日附を以て軍需品用としての銅假埠牌に制限を加ふる爲め愈々銅徵發令を發布したる旨倫敦より古河京城出張所に入電あり

## 前年關稅收入

### 五百三十二萬圓に上る

大正五年一月より十二月に至る朝鮮關稅收入は五百三十二萬八百十二圓にして之れを前年に比すれば八十六萬五千九百五十六圓の增收なるが增收の內譯は輸移出稅六萬二千圓輸移入稅八十一萬四千圓其他噸稅諸收入等なりと

## 土地臺帳實施

二月一日より左記各道各郡に於て土地臺帳規則により土地に關する事務を取扱ふ旨發表さる

▲忠淸北道 忠州郡
▲全羅北道 錦山郡、長水郡、鎭安郡、金堤郡、高敞郡(島嶼を除く)、扶安郡(島嶼を除く)
▲全羅南道 谷城郡
▲慶尙南道 居昌郡、河東郡(島嶼を除く)、固城郡(島嶼を除く)
▲黃海道 殷栗郡(島嶼を除く)

## 土木建築受負界刷新

### 談合事件關係者處分

京釜線改修工事の入札に於て談合をなし其の筋に檢舉せられて第一審及び第二審共有罪の宣告を受けし同事件關係者に對する總督府の行政處分は既報の如く其の罪狀の次第により向ふ二箇年間並に一箇年間の受負指命停止を斷行されたるが右は萬一高等法院に於て前判例を取り消し無罪の宣告あり法律上犯罪を構成せずとも彼等の行爲の不都合にて公の秩序を紊すものなる事は明白に付前記の行政處分は司法處分最終の審判如何に拘はらず効力を有するものなり又事件發生以來今日迄事實に於て同事件關係者は受負指命停止の狀態にありしが此の期間は假處分にて今回の停止處分より差引かるゝ譯合に非ず乃ち關係受負人は二年若くは一年の停止處分に既往の期間丈けを加へられし丈けの痛手を負ひしなり尙ほ鐵道局は一樣に除名處分を斷行したるがコハ除名を解かるゝまでは全然鐵道入札に參加し能はざる由尙ほ該處分の結果朝鮮にて官廳の入札工事に參加し能はざれば自立の道立たざるに付各關係受負人は大部分內地に引揚ぐるか廢業若くば業務縮少の外なく――既に引揚しものあり――之に更て新たなる有力請負人の入鮮を見朝鮮土木建築請負業者の空氣を一新するに至るべし或は土木局鐵道局の如きは若干工事入札上不便を感ずべきもこは止むを得ざる所ならん

## 小野田セメントの平壤工場

### 建築準備の進捗

小野田セメント會社が大同江畔に大企模の製造工場を設けんと企畫中なる由は曩報の如きが當業者の組織未だ頻りに步を早めて既に設計も成り其筋に認可申請手續きを了り敷地を得て大に直に

▲建設に着手

する運びとなれる爲同社支社長たるべき技師朝枝信太郎氏は曰く平壤工場の設置に就ては昨年三月以來絶えず調査を行ひて昨今漸く諸般の事を決定し得たり帷位置の選定には當初より最も苦心を重ね京仁其他幾多の候補地を措いて大同江畔に着目し平壤附近を選ぶに至りしが敷地は猶ほ定らず何れにても買收み次第直に起工すべし此建設資金百六十萬圓を要し當初年二十五萬樽を製造し漸次三十萬樽迄增加せしむべき豫定なり而して製造開始は早くとも大正八年度なるべし現今セメント界の好況に際し機を逸せざらむことを努むるも工場には多大の設備と時日とを要するを以て之が經營には數年後の

▲反動的不振

の時を豫期して充分の注意を拂ひつゝあり之を內地工場に比較ずるに石炭の不振なると各期作業を續くるために相當の設備をなさゞるべからざる不便著しきに對し原料の豐富と勞銀運賃の低廉なる等の便あり利害殆んど相匹敵するも大連に於ける支社の好成績に鑑みて前途有望なるを信ず右の中石炭は主として撫順平壤炭を用ゐ本溪湖平炭を混せて年三萬噸を消費すべく原料の石灰石粘土は內地產に比して純分少き憾あるも平壤附近一帶の地に多く勞役は內地人を職長とする外は大抵鮮人を以て之に充て約千人請を使用すべし工場は最新式の器械とし原料粉にはペンチユラミル爐は聞商式燒塊粉碎にはボールチユーブを用ふべく撥式の立釜にて此は十數本の大煙突を林立せしむるも此處には高さ二百尺の

▲煙突一本

を立つるのみ動力はダービン式を用ゐ一千基の電力を使用し此煙突高さ百六十五尺にして共に鐵筋コンクリートとする設計なるが工場成つて製品が市場に出づる時はもはや今日の如き市況に非ずして且母子國間關稅撤廢の期も近ければ之等販路に就いてはなほ多く努力を要すべきが內地產品との勢力圈は專ら運賃の關係により決せらるべく製品の一部は滿州送りとして大連支社の製造力不足なるを補ふべし云々

## 偕行社建設委員會

十三日午前十一時より第十九師團司令部會議室に於て立花中將を委員長とする龍山偕行社建設委員會を開催する由にて軍及び師團參謀長外各部長主要團長等列席すべし尙ほ現在する偕行社は假建築にて其の改築を行はんとするものなりと

## 年賀電報郵便

本年の年賀郵便は一般好景氣なると朝鮮在住內地人の增加朝鮮人の年賀狀信者漸增の爲め其の總數之れを昨年に比すれば約一割五分增にて各道の總合計は一千萬通內外と註せられつゝあるが京城府內に於ける引受取扱數は當局にて各方面より精細の計算をなせし結果約二百三十四萬通に上り之れを昨年の百九十二萬通に比すれば四十二萬通の增加を示し居れるが今各郵便局別に舉ぐれば左の如し

| 局名 | 引受數(萬) | 局名 | 引受數(萬) |
|---|---|---|---|
| 京城 | 一三六、〇〇〇 | 西大門 | 四、八〇〇 |
| 光化門 | 四一、四〇〇 | 龍山 | 三七、八〇〇 |
| 南大門 | 一三、〇〇〇 | | |

而して配達は十二月卅日より一月七日に至る分各局合計二百五十萬通にして昨年より稍取扱數の增加を見居れり

▲年賀電報 年賀電報の取扱數は年々增加の傾向はあれど其の利用普ねからず又特殊の取扱ひ假令へば料金を低減する如き事をなし居らざる爲め總數は意外に少なれど本年京城郵便局の取扱數は發信八十一通著信二百二十一通合計三百零二通にして昨年より發信に於て五十七通著信に於て百十二通の增加を示し又光化門郵便局は發信三十通著信六十四通合計九十四通にして同局の取扱總數は昨年より十二通を減じ居れり尙ほ龍山郵便局分は報告未達の爲め不明なり

## 京城局爲替貯金扱高

京城郵便局に於ける十二月中の爲替貯金等の取扱狀況左の如し

▲內國爲替 は振出口數五千七百三十口金額十五萬二千六百八十一錢にして同拂渡は口數一萬三千四百九金額二十四萬九千六百八十三圓四錢なり之を前年の同月に比較すれば振出に於て口數四百七十五を增し金額一萬七千百四十九圓十二錢を減ぜり又拂渡は口數七千六百三十八金額十二萬三千百五十三圓五十五錢を增加せり

▲外國爲替 は振出口數四十五金額千五百五十七圓八十八錢にして同拂渡は口數四十二金額千三百四十七圓六十八錢なり之を前年同月に比すれば振出に於て口數七金額百十圓二十九錢を增し拂渡に於ては口數八を增し金額二百二十圓五十二錢を減ぜり

▲郵便貯金 は預入口數二千六百七十六口共金額五萬三千九百四十五圓四十九錢八厘にして拂渡は口數千四百二十三金額四萬千五百五十一圓十六錢一厘なり之を前年に比すれば預入に於て口數百二十三を減じ金額二萬四千三百四十三圓五十五錢八厘を增せり又拂戾は口數百三十六金額一萬三千三百八十六圓十七錢四厘を增加せり

▲振替貯金 は受入口數千六百七十七金額二十萬四千六百三十五圓二十五錢五厘たして同拂出は口數千六百五十九口金額百二十四萬二千五百十六圓五十一錢一厘なり之を前年に比すれば受入に於て口數二百九十一口金額五萬千四百十九圓七十七錢五厘を又拂出に於て口數二百七十六金額四十三萬二千七百三十九圓二十六錢一厘を增加せり

▲其他 資金超過金及其他の受入金は口數二千百四十三金額二百四十萬千六百十八圓二十五錢八厘にして同拂出は口數七百五十金額百四十一萬八千四百一圓十七錢なり之を前年同月に比すれば受入に於て六十五錢を減じたるも金額八萬千四百四十三錢七厘を增せり又拂出は口數八金額二十四萬七千三百十二圓六十一錢を減ぜり

如斯にして今是等を合計するときは受入金額二百九十六萬八千百六十六圓七十錢一厘拂出金額二百九十五萬四千五百一圓七十三錢二厘にして之を前年の受入金額三百六十九萬五千四百六十四圓五十二錢八厘拂出金額二百六十九萬三千三百七十八圓三十錢七厘に對比すれば受入に於て二十七萬二千六百八十六圓十七錢三厘を又拂出に於て二十六萬千百二十三圓四十二錢五厘を增加し受拂總計に於て五十三萬三千八百九十五圓五十九錢八厘を增加せり

▲累計額 四年一月より十二月迄の取扱總額は四千三百十六萬二千八百三十三圓なりしが本年同期間は六千三百十一萬三千九百七十六圓にして千九百九十五萬千百四十二圓の增加を示せり

## 軍人後援會好況

大隈侯爵を會長とせる帝國軍人後援會は昨年四月朝鮮支會を設置し更に支會にては各道に部會を設置し會員募集中なるが慶尙南道の如きは道長官始め多數の會員を得尙各道とも好況を呈しつゝあり

## 無門會開講

昨秋求道の有志に依り成れる無門會は十三日午後四時より京城商業會議所樓上に開催後藤瑞巖老師を聘して新年の開講を爲す由當日は禪海一瀾に依らず左の槐安國語の一節大燈國師上元上堂德山吹燭の因緣に付提唱ある由にて何人も聽講隨意なりと

上元上堂。僧問。人間燈。天上月。有レ明有レ暗。有レ圓有レ缺。進云。請師端的。師云。萬里一條鐵。進云。龍潭吹二滅紙燭一德山大悟。未審見處在二明中一。在二暗中一。師云。狗嚙二赦書一。進云。與麼則發二光師一去也。師云。阿誰不レ承レ恩。

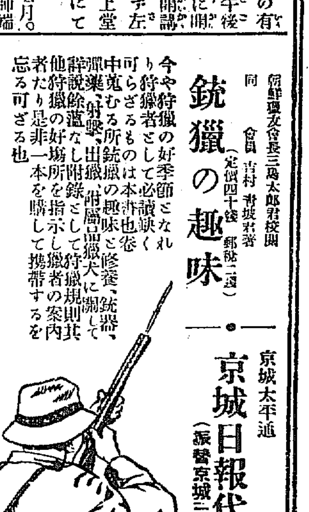
乃云。朶朶放二金蓮一(把レ日爭レ花。似向二虛空裡一釘レ橛)重重懸二錦綢一(芙二眼花一。金屑雖レ貴落レ眼成レ翳。)紙撚無レ油底莫二縈レ驗レ偸レ光(誰家無二明月淸風一。)然雖二與麼一(……)擘二揣于二下座(此老爭二何死急一)

## 人事消息

▲鈴木慶北道長官 巴城館へ
▲久永外事課長 十二日夕仁川より歸京
▲赤澤[illegible]川憲兵隊副官 十二日夜入京淸光館へ
▲谷口與四郎氏(鑛業家) 十二日夜退京
▲持田國太郎氏(大倉鑛山主任) 十二日朝退京

## 南言北語

法學博士今井嘉幸君と云へば餘り知つた人もなからうが其の名を聞いた人も少なからう▲今井君は學生時代から俠骨稜々たる五尺未滿の小男ではあるが柔道は初段迄進んだ快男子だ▲大阪で辯護士をして居たが故蔡鍔が雲南で革命旗を飜した時今井君は其の護國軍の顧問となつた▲と丈けでは大した事もないが其の行き方が實に痛快で所謂快男子たる處だ▲第三革命勃發當時君は丁度一萬五千圓程儲けた金があつた▲新聞で愈々革命が擴大されんとする事を見た君は惜氣もなく革命軍の爲に投出し自ら進んで顧問の大役を引受けたのみか▲其頃丁度良緣があつて將に華燭の典を擧ぐる迄段取りが進んで居た▲扨て愈々黃道吉日と云ふ事になると『女房なんかとくつ附いてる場合ぢやない』と遠慮もなく結婚を無期延期にして支那へ飛んで行つたのは實に振つて居るぢやないか▲元旦に早稻田の大隈侯邸に珍らしく年賀の女回禮者が落合つて浮世話に花を咲かせて居ると▲ヌツと顏を突き出したのは蠻カラ博士久米邦武先生であつた▲朦朧たる醉眼に一瞥を女の群に吳れるや否や▲日本は元來神國である斷末魔に悲鳴を揚げる不淨の畜類を口にせぬのが六根淸淨の神の國民である▲然るに何ぞや近來の紳士淑女と稱するものは紅毛の蠻邦人を眞似て牛豚の如き不淨の畜類を食み國俗を破り非禮を怪まず殊に新しき女共に至つては▲と來たので一座の貴婦人連悉く恐縮したとは面白い▲寒い風だの眠な風だのと人に嫌はれる多の北風は無くてはならぬ風なのである▲今年の寒氣は十年來の寒氣だなどとこぼして居るが麥の作柄には上々吉兆らへ向だと某所で氣象通の氣焰、

朝鮮獵友會長三島太郎君校閲 同 會員 吉村計拔君著

銃獵の趣味 (定價四十錢 郵稅二錢)

今や狩獵の好季節となれり狩獵者として必讀缺くべからざるものは本書也卷中寬むる所銃獵の趣味と修養、銃器、彈藥、射擊、出獵、附屬品獵犬に關して詳說餘蘊なし附錄として狩獵規則其他狩獵の好場所を指示し獵者の案內者たり是非一本を購して携帶するを忘る可ざる也

京城太平通 京城日報代理部 (振替京城二〇〇番)

資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百六拾五萬圓

株式會社 第一銀行京城支店 京城本町二丁目(振替貯金京城一一番)

頭取 佐々木勇之助

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

各種萬年筆即時修繕◎

新式機械と熟練せる職工により如何なる部分も即時修繕仕候定價送呈

京城旭町二丁目六番地 東京パイン萬年筆出張所

優等淸酒

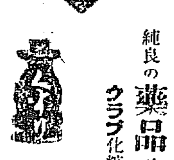
福岡縣三井郡山川村 釀造元 富安本店
京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店 電話一〇三九番 振替口座四三九番

營業品目

肥料部
蒸製骨粉、乾血、蹄角粉
星印配合肥料、細工用地骨
細工用蹄角各種膠及膠原料

石鹼部
化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼
牛脂、椰子油、鯨油、其他
油脂類、苛性曹達、洗曹達

京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四番 電話九七三番 振替口座京城〇〇四番



純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
ウラブ化粧品代理店ですから……御値がお安いです
京城本町二丁目角 古城賛化堂 電話一〇二番 振替七三七番

內科 小兒科
京城日出小學校前 多々見醫院 入院隨意 電話九四〇番

資本金參百萬圓
明治三十八年設立

當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社 漢城銀行
長 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
電話長二六四六番 二三九番 振替京城一八六二番 一二〇五
支店所在地 水原、平壤、大田、開城
出張所所在地 南大門、鍾路、東幕

…狀態なり仁川港內は一月七日より一面に結氷し碇舶船と陸上との交通は全く不能となり在港船中の外國貿易船二行衞不明の艀船二其他多少…極附近に避難せるを以て水陸の交通…日來遭難せる船舶は難破せるもの…

## 東京大角力

十二日午後十時著東京支局特電

東京大相撲春場所初日は非常の好景氣なる上に九州山朝潮、兩國大響等の好取組ありし事とて忽ち大入滿員の盛況を呈し午後四時十分打出したり當日の勝負及二日目取組左の如し

### ▽初日の勝負

| 勝 | 負 | 勝 | 負 |
|---|---|---|---|
| 玉[illegible] | 國見崎 | 朝日山 | 三杉磯 |
| [illegible]ヶ岸 | 緋縅 | 大の里 | 玉柳 |
| [illegible]嶽 | 外ヶ濱 | 花の山 | 朝緑 |
| [illegible]泉 | 稻の穗 | 八甲山 | 玉の川 |
| 藤の川 | 鳴門洋 | 明[illegible] | 琴ヶ浦 |
| 紅葉川 | 一港 | 土州山 | 梅川 |
| 千葉崎 | 岩木山 | 柏戸 | 君ヶ濱 |
| 黒瀨川 | 小常陸 | | |

千年川（そむさう）對馬洋　大戸平（釋迦嶽）大錦（濱の浦）　鳳（宇都宮）太刀山（源氏山）　兩國（うけてなげ）大響　逆鉾（おしきり）玉手山　駒泉（はづき）大鳴門　若島　預　龍ヶ崎　宮城山　預　巽島　紫雲龍（寄り倒し）伊勢濱（川）栃木山（巽砂石）

◇中入後

九州山（より切り）朝潮　西の海（出し投げ）石山

右の內▲鳴門洋に藤の川は右差寄り倒して藤の勝▲紅葉川に一港は紅葉一流の速射突きにて可惜新入幕の一港土俵を飛び出したり▲琴ヶ浦に明石は花武者同志の好取組なりガッキと右四ツ明十分喰ひ下れば琴右上手を引いて必死で寄り合ひ水入後明強引に捻れば美事に極まつて是亦新入幕に土が附く▲土州山に梅川は梅の突張らんとするを土州素早く左を差して寄ると見せ引落しての勝は鮮か▲千葉ヶ崎に岩木山は好取組なり烈しく突き合ひ岩木限手を用ひて奮鬪するを千葉左手を岩木の頸に卷いで片手吊に吊り上げそのまゝ強引に持ち出さんとして岩木が懸命に堪ふるを外掛に澁びせ倒しての勝は元氣一杯なり▲柏戸に大の川改め君ヶ濱は簡單に突き合ひ突き倒して柏戸の勝大蛇潟改め

▲大響に兩國　はバッタリ左四ツ響下手投を打たんとするを兩外掛に行き響が再度下手投に來るを上手投を打ち返し兩國の勝

▲玉手山に逆鉾　は玉手が下を潜つて右を差さんとするを逆左を當てゝ入れさせずそのまゝ押し進んで逆の勝

▲千年川に對馬洋　は千年の敵の突き出す左手を取るや久し振りにて千年一流の高無双美事に極まつて勝は喝采▲大戸平に釋迦嶽は左四ツで無雜作に寄り切つて大戸の勝▲濱の浦に大錦はバッタリ左四ツ渡すや否や錦強引に吊りを試みしも利かず互ひに右褌を引いて呼吸を計る內浦進んで吊身に行くを反對に吊り出して錦の勝▲鳳に宇都宮はバッタリ右四ツ吊身に寄り進み宇都宮が外掛け澄さんとするを右手を筈に當てゝ押切つて鳳の勝▲太刀山に源氏山は源氏飛び込んで右差となるを太刀左手に卷いて右筈に當つるや太刀一押に押切つて勝▲寒玉子改め若島に龍ヶ崎は突き合ひ若押進むを龍打棄つて同體に落ち預かり▲巽島に宮城山は突き合ひ宮城左を差して押進み渡し込んで勝

▲大鳴門に駒泉　は駒より突きかゝるを鳴門突き返す出ハナを駒右に突じて彈けば鳴門バッタリ前に落ちて駒の勝は入幕早々大敵を仕止めたる幸先よし▲鶴渡りに紫雲龍は右四ツ寄り切つて紫雲の勝▲巽砂石に栃木山は巽砂懸命に突張るを受け流しつゝ反對に突き放して勝

▲朝潮に九州山　は九立上りさま左筈に當てゝ鋭く押進み朝が右を差さんとするを差させず右を入れて正面土俵溜へ寄り切つて九の勝は滿場大喝采▲石山に西の海は飛び込んで二本差となり西門に極め強引に押し倒して西の勝にて午後四時十分打出したり

▲綾川休場　綾川は腸加答兒のため休場を申出でたり

### ▽二日目の取組

龍ヶ崎（八甲山）朝緑（千葉崎）稻の穗（柏戸）一港（敷島）
駒泉（土州山）大門岩（大鳴門）紫雲龍（千年川）君ヶ濱（若島）
逆鉾（石山）宮城山（黒瀨川）九州山（紅葉川）栃木山（鶴渡）
小常陸（伊勢濱）兩國（太刀山）西の海（巽砂石）梅川（琴ヶ浦）
釋迦嶽（大響）宇都宮（濱の浦）岩木山（玉手山）源氏山（朝潮）
大錦（大戸平）對馬洋（鳳）

## 寒氣に傷められたる滿鐵
### 貨車損害頻發　應急修理多忙

打續く酷寒にて滿洲は海陸共交通運輸に支障を來せるが就中滿鐵の貨車は損傷頻發し十一日迄に其數七十輛に達したるを以て同社は終に社法を以て一部

▲列車の運轉休止　を發表せり猶車輛損傷防止廠舍修繕及び軌條故障の修理に就き同社運輸當局は必死の力を盡せるのみならず貨車の補り及び之に伴ふ諸般の應急作業に就ても苦心しつゝあるが茲兩三日來寒氣稍薄らぎたれば此上の故障は無かるべきも

▲重ねて寒氣襲來　せば輸送上大支障を來すべきを以て同社に於ては極力善後策を講究しつゝあり（大連特電）

## 南洋に劒を拔いて舞ふ
### 此の寶庫を拓け　中井錦城氏の漫遊談

中井錦城氏が久しぶりに入京した、曾ては日露戰役中の京城民團長として後ちまた統監府時代の咸鏡北道事務官として朝鮮と因緣淺からざる當年の錦城先生は

▽相變らず　の赭黑い面色で衰へ知らずの紋付と袴姿、巴城館の一室で應接間には暖爐を圍むで氏の舊知が大勢ばかり、アームチエアの上に端坐した氏の西方山ばなしに曰く「京城も大に變つた、昨日も電車で龍山に志すと暫くにして車掌が下車を促す、早や龍山に來たのかと訊くとね生憎ながら此處は

▽西大門の　終點ですとのはなし、これには少々驚いたよ、なに私の南洋旅行か—新嘉坡と瓜哇にはもう前後三回遊んで見たが南洋の生活は迚ない所よりは遙かにましぢや、新嘉坡の貿易額は一箇年六億圓、その多くは中繼の貿易に過ぎず輸出品はゴムばかりで馬來半島の全人口八十萬といふんぢやから額の知れたものさ、但し瓜哇に至つては

▽南洋無限　の寶庫で人口もなかゝゝ澤山である、邦人の發展は資本か商品を持て行かねば駄目だと思ふ、新嘉坡には目下三千人の邦人が居るがその中八百人は娘子軍だ、それに彼處の貸家は三十圓と六十圓と九十圓と百二十圓といふ風に三十圓一飛びの定めであつて十圓とか二十圓といふやうな家はない、私の泊つたヴヰクトリアローズ

▽ホテルこ　いふのは古い手狹な建物であつたがそれでも一箇月百二十圓と稱して居つた、然るに海岸の繁盛消き建堂々たる四層樓の商樓で六十圓だといふから何うした理由かと訊いて見ると此處は蘭貿が利きませぬから……との返辭であつた、その外建物には隨分素晴らしいのがあつて快速力の自動車で乘り廻しても暫くかゝる大邸宅があつたから

▽誰の所有　かと訊くと亞刺比亞人の金貸しの家といふとであつた、青島の陷落した時恰度私は新嘉坡に居たが邦人の在留民五百名は同地の活動館に集つて大に祝盃を擧げた然るに上流社會の邦人は一向出て來ぬので變なと思つたが中には英人の風來坊が四五人も飛入りとなり一同私を捕へて遠來の珍客に一場の挨拶をやつて貰ひたいとの仰せである そこで

▽私が大に　祝意を表して引下ると矢庭に發起人の一人が長劍を引き拔き劍舞をやり出す大賑ひ、それからといふものは引換へ引換へ盃…に飛び出して午後の八時頃まで見物を強ひられたには恐縮した、先づ南洋の方もだんゝゝ日本人が發展して行くから結構である—なに私の出發期か、私は三四日の間に內地へ歸る……」とこゝまで氏が

▽眞面目で　いふと『なあにどうせ先生のことだからそれより遲れても早くなる氣遣はありません…』と客の一人がカラゝゝと笑つた

## ●新潟市の劇場倒壞
### 福井で汽車に炊出

信越、山陰及び岩越の各線一帶積雪甚しく汽車不通の個所多し新潟市にては劇場倒潰し福井市にも亦小學校の倒潰あり北陸線にては汽車旅客に對し三千人分炊出を爲せり

## ●狂人刃物を持て

十一日午前四時頃自宅及び附近の溫突二十二間を燒失せしめたる精神病者たる京城西大門町一丁目居住の李廟用（三三）は翌十二日朝又々發狂して刃物を以て暴れ出したるより附近の者等之を取押へんとしたるに同所居住の徐寿植（[illegible]）の手首を突き刺したる騷ぎに鐘路署より警官出張して同人を取押へたり

## ●京城婦人會初會

京城婦人會は十三日午後一時半より倭城臺なる同會事務所に於て新年初會を催し餘興として會員有志の謠曲、仕舞、其他狂言等の催しある由

## ●新義州十三年振の酷寒

舊臘中より氣溫著しく低下し加之十數日に亙る打ち續けの酷寒にて古き在住者の言ふ處によれば去ぬる明治三十八年以降始ての嚴寒なりと京城地方に於ては零下十八度位に低下せる日を最も強威の酷烈なりと稱する由なるが左に掲ぐる處の新義州に於ける元旦以降の氣溫表を見て以て如何に此方面の寒氣の酷烈なるかを知るべきなり因に此氣溫表は新義州稅關支署監視係に於て同署監外鴨綠江に沿へる場所にて調査せるものに係り表中元日以降十一日午後六時に至り始て零下九度の氣溫を示せるを以て近來珍らしき溫暖の日と稱するなど恐くは他地方人士の想像及び難きものなるべし

| | | | |
|---|---|---|---|
| 一日 | 下廿二度 | 下十六度 | 下十六度 |
| 二日 | 下廿二度 | 下十二度 | 下十六度 |
| 三日 | 下廿六度 | 下廿一度 | 下廿二度 |
| 四日 | 下廿三度 | 下十三度 | 下廿二度 |
| 五日 | 下廿一度 | 下十三度 | 下廿度 |
| 六日 | 下廿四度 | 下十三度 | 下廿度 |
| 七日 | 下廿二度 | 下廿二度 | 下廿七度 |
| 八日 | 下卅一度 | 下十八度 | 下卅四度 |
| 九日 | 下廿八度 | 下十五度 | 下廿二度 |
| 十日 | 下廿五度 | 下十四度 | 下廿二度 |
| 十一日 | 下廿三度 | 下九度 | |

## 坑夫一千名　生死不明
### 撫順炭坑爆發　百九十一名救助さる　損害高約五十餘萬圓

十一日午後十時過ぎ撫順炭坑大山坑の風坑より突然發火し火焔瓦斯として立ち上り物凄き事言はん方なし此椿事を聞き付けたる坑務官は勿論守備隊憲務署消防隊の各員即時出動し必死となりて消火に努め夜半十二時過ぐ風坑を密閉し得たるが坑內には日支人約千二百名作業し居りしが昇降機にて救助せられたる者其の中僅かに百九十一名（中日本人三名）に過ぎず其他は悉く生死不明損害約五十餘萬圓の見込なり原因は瓦斯の爆發ならんと（大連特電）

## ●女高師範試驗

東京女子高等師範學校の依託に依り總督府學務課にては今十一日より同十三日迄同校入學試驗を行ひつゝあるが受驗者は釜山高等女學校及び京城高等女學校卒業生各一名鷲部谷二名なりと

## ●嫁入間際に分娩

慶北義城郡義城面山面[illegible]洞金在先長女金恒（二八）は大正四年七月中其叔父にして同里居住の金炳基（三七）と私通したる結果懷妊したるが其の事實を知らざる父の在先は金恒を同道郡[illegible]面島川洞の洪某に婚姻せしむる約束となり昨年十一月十五日を期し輿入れせしむることゝなりゐたるに恰かも其の當日金恒は俄かに產氣附きたるも僞近秘密に葬らんとて同村の[illegible]三名共謀し金恒は密かに便所內にて男兒を分娩したるを壓殺し兩名は其死體を山中に葬りゐたることを此程義城警察署の探知する所となりて關係者は何れも同署に檢擧されたり

## 熊を逐うて
### （三）好敵御座なれ

業敵こそ好敵御座んなれと私は銃を取直した、茲で一寸お話し申しますが熊に追はれて木に登つたなどと云ふ話がよく有りますが熊は牛や馬などと違つて却々どうして木登りは巧いものであります、爪が長いからあれで登るかと云ふと決して左樣では無く

==爪を木の幹に打込==

人間と同じ樣に幹に掘かまつてズンゝゝ登つて參ります木の上に熊の登つたのは朝鮮人に追廻されたので一つは寒さの爲め手足が凍ひて堪らなく成つて木に登つたのです、私は熊の頭と思ふ處を狙つて一發やりますと怖ろしい叫び聲と一緒に地響させて落ちて來ました、何ぼしろ牛ほどもある大きな熊の事ですから如何に

==急所の傷手を負ふ==

たと云つてもその儘グッの音も出さずに往生して終ふ樣な事はありません、百五六十貫も有らうかと思はれる偉大なる體を棒立にして大きな山でも崩れ掛るやうに私の頭の上から飛び掛つて參ります私も拔らず再び銃を取り直して微塵になれと擊ち掛る熊の擧の下を潜るが早いか其の胸の月の輪と覺しき處に

==銃口を當てがつて==

續け樣に四發まで打つたので流石の豪猛も之れには一堪りもなく筋斗打つてどうと許りに引くり返へり血は泉を迸ばし出した樣に噴はつたの其の邊の雪を染めて彼の大きな圖體は雪に橫はりました私は早速と山刀を取り出して皮を剝ぎ取りましたボッゝゝと湯氣の立つ內臟を掴んで引摑り出し腹の中に

==頭を突込んで溫か==

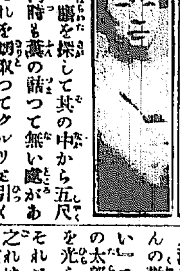
な生血を思ふ樣吞んだ上、內臟の中から膽を撰り出して皮と一緒に大切に小屋の中へ運込み再び取つて返へして熊の腹を探して其の中から五尺ばかり何時も熊の腸の詰つて無い處があるからそれを切取つてクルリと引くり返へして其邊の雪を攫んで內部をゴシゝゝ洗つて其れに肉と脂とをギシゝゝ詰込んで扨て今度は脂肪を切取つて小屋へ歸り早速

==著物の綿を拔き出==

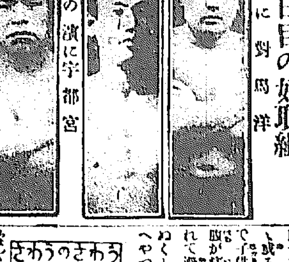
して小撚りを拵へて芯として灯を點した實はその七八日の間は夜に成ると灯と云ふものが無いので夜は長しと閉口して居つたのです最も山に這入る時は多少蠟燭を用意して居ましたが山小屋の溫突が熱いものですから蠟燭は皆な融けて流れて終つたのです斯うして熊を獲つて何日振りかに夜を照らす熊灯が點くとイヤ

==滅法に嬉しいもの==

で踊でも躍たく成りますお剩けに腸詰の肉がほかゝゝ燒けて何んとも云へないよい匂ひがして來るのです

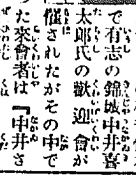


濱の浦に宇都宮



二日目の好取組　鳳に對馬洋

●忘機吟社例會　忘機吟社は十四日午後一時より大和町三丁目曹溪寺に於て例會を開く可しと




▲十一日の夜千代本で有志の錦城中井喜太郎氏の歡迎會が催されたがその中で『中井さんの歡迎會なら是非共も加へて下さい』と一番に出席した宮美酒家の太郎▲ハテ訝しいと好事連が眼鏡を光らす程に開宴となつて太郎からそれを聞いた時中井さんが『ホホウ之れは珍らしい』と驚いたのも道理▲今は一昔の十年前中井さんが鏡城にゐた頃偶々咸興に行つて去る青樓に浩然の氣を養つてる節に來たのが十二三の雛妓、中井さんを見るなり可愛い眼を瞠りながら『あなたは京城の民長さんでせう』と來たので『フムお前何うして俺を知つてるかね』といふやうな事から段々訊いて見ると▲太郎は咸興に行く前京城に於て舞妓を勸めながら通學してる內男生の凸凹から『あいつ舞妓だゝゝ』と嘲弄れるので口惜しがつて學校を退學したが太郎はその時級中の優等生だつたので校長から當時の民長だつた氏の耳に入り『藝者でも何んでも學問が出來ればよい』と引止めた事のある子供が現在眼の前に德利を有つて坐つてる雛妓の二郎（宿名）であるのでそれ以來寵愛一方ならず無邪氣な同人から踊なぞを習つて騷いだ事のあるのを憶ひ出したので十一日の夜も大分當時の舊い話がはずんださうである

## えんげい

▲壽座へ大ストーブ　中村新駒一座は六回目狂言に新駒の十八番劇道成寺を出す筈なりしも出囃子の都合に依り十四日よりの七回目狂言に出す事となし十二日より一番目に[illegible]柳生旅日記大序より大詰まで　切に濱松屋[illegible]の太鼓を出し酒井左衞門尉は新駒勤むる由、尚同座は十二日より場內階上階下に大ストーブ五個を据え付け十分の保溫設備を爲たり

▲浪花館　雷門助六一座の東京浪花節は十一日より大切に助六が中心とせる同座獨特の落語劇を上場して連夜好評を博し居れるがかなり非常に賑る喝采を博し居れり

▲大正館　十三日より新寫眞と差替ふることゝなれり其の主なるもの左の如し　▲實寫獨逸の風景▲喜劇求婚の競爭▲探偵活劇夜の世界全三卷▲悲劇某輪心中全四卷▲新派悲劇返り咲き▲滑稽活劇兩成敗上下二卷

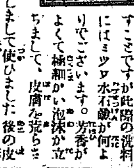
▲黄金館　十二日より新寫眞と差替へたるが主なる寫眞は第三聯海五、六編四卷並びに新派劇千住怪談顚末　明神紹長尾四卷五十七幕の長尺物なり

▲活動好き　師が藝者なのと無邪氣なのとで大分可愛がられてゐる齋藤組抱中の子役百之助は戲藏の秘藏の仲だが何んと言つても當年十一歲の腕白盛り、活動寫眞殊に西洋物が大好きとあつて八日の晩宅居が休みになつたを幸ひに大正館へ行つてゐると親仁の所から至急に歸つて來いと神が來たので慌てゝ歸るとそのまゝ或る料理屋へ連れて行かれ師匠を所望されたので子供心にも憤慨して座敷に入るなり急に頭が痛みだしたが結局踊れば活動へ遣ると言はれて漸とお天氣になり二つ三つ立て續けに踊りぬくと一目散に駈け出して『東京さん大正館へやつておくれ』

## 『の』の字食の話
### 親しき中にも作法はあり度し　のの字食はよし移箸は惡し

澤村宗十郎談

新年には親戚知己お友達の家でお食事の御馳走に預る場合もあり勝のものでございますが親しい中にも斯樣な際には亂れぬ作法のありますが床しいものでございます。先づ普通一般の食事の時には飯に箸をつけまして、それから汁になるのでございます。その次は又飯にかへり、それからお菜と順々に箸をつけて行くのでございますお菜の多く並べました時は『の』の字食と申しまして左から右へ廻りますのが順序としてございます。一廻り此順序で廻りましたらその後は自分の思ひ通り食べても宜しいのですが、お菜からお菜へ直ぐ移りますのは移箸と申しまして宜しくないことになつて居ります。又よく汁は汁、刺身は刺身と一品づゝ片附て行く方もありますが此は西洋料理ならば格別日本の料理ではしないことになつて居ります折角出ました料理に一度も箸をつけませんのも宜しくないことになつて居ります。お土產として持つて歸らせる樣に拵へたものは箸をつけるには及ばないとは申しますまでもございません。お菜を召食ります際に皿の中の見苦しくなる樣につゝき散らすのは不作法としてあります。尾頭つきの丸の魚ならば、表の片身を食べましてから裏を返して丁寧に箸でむしります。指で摘みますのは禮ではございません。蒲鉾などを食べますにも齒形を半圓形につける樣なことはせずに成るべく平に食べる方が宜しうございます。物を嚙ますにも成るべく音を立てない樣にし汁や茶を吞んだ後で脣をならしましたり食事中にキョロゝゝ見廻したりするのは不作法になります。それから食事中に頭を搔いたり足を撫たりしますのは人に汚ない不快な心持をさせますものですから愼まなければなりません。箸は食事の中途で置きます時はお膳の縁にかけ、すつかり終りましたら膳の中に落して置く方が宜しうございます。食事の終りにお茶で口を嗽いだり甚だしいことは音を立てゝ嗽いで飲み込んでしまつたりしますのは不作法ですか



▲澤村宗之助曰く　新年のことですからお出かけになりますことも多いことゝ存じますが、お出かけのお化粧に先づ顏、襟足、首筋と一わたりお洗ひになりますことですが此際の洗料にはミツワ水石鹸が何よりでございます。芳香がよくて極細かい泡沫が立ちまして、皮膚を荒らさずに淸潔に滑らかにしまして使ひました後の皮膚には白粉ののりものびも宜しいのですから初春の鏡臺前には是非一瓶備へて置きますものでございます。

ら口を嗽ぎますには別に改めて食事を了つてから水で嗽ぐ方が宜しうございます。さて親しい間でも新年の訪問には著換へますことですからお化粧をしませんと何となく淋しいものでございます。お化粧には濃化粧にしましても薄化粧にしましても大切なのは土臺になります地肌を整へることが大切でございますから皮膚の營養になりますミツワ石鹸を使つて入浴をなさることを怠つてはなりません。浴槽で暖まりまして肌がなりました皮膚へ此ミツワ石鹸を掌で溶いた雪の樣に白い泡沫を塗りまして靜に撫ますと汚垢は石鹸の作用で此泡沫に吸れる樣になつて混りますから之をお湯で洗流しますとするりと氣持よく落ちて皮膚は淸潔になり機能は健かになつていゝ色澤になり白粉ののりものびも宜しいのですから美しく化粧が出來上ります

（ミツワ寶庫六〇一）

…常備消防出動消火し…溫突建五…九時頃荷馬車を牽きて古市町を通行…一頭を拉し去りたるを宿直員發見…龍山行五十五して追跡したるに約二丁を隔りたる…新果疾紹と判明し患者は順化院へ入院せり…の上

# 怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

四十七

## 遺書「十」の二

『大丈夫と云つたら大丈夫です。阿母さんに疵を賦けるやうな事は、誓つて仕出來しや爲ません。』

『ほ、ほ、ほ、お前さへその了簡で居てお呉れなら、何も言ふ事はありは爲ませんがの。そしてあの幸三郎や、先刻の松崎さんとやら云ふお人は、畫の事に就いて、何かお前に內々で相談がしたいと被仰つてのやうですが、お話は、旨く纏りましたかの。』

『はツ、大畫は纏りましたよ。先方の望みは、文展で落選の畫を買ひ取りたいと云ふ話しでしたが、彼れは引破つて捨て、了つたと言ひましたら、では已むを得んから、新に一枚描いて呉れと言ふんです。阿母さん、世の中は廣いもんですね。僕如き無名の畫家にも、わざ〳〵畫を囑みに來る變り者があるんですからね。あツ、は、は、は。』

幸三郎は、故意に快活らしく笑つて、母親の心を紛らさせやうと努むるのであつた。

『まあ〳〵、それは耳よりのこッですの。何う云ふ縁故から來られた人かは知らぬが、一生懸命に描いて進せるが好う御坐いますよ。その一枚の畫の出來榮に依ては、又何のやうな幸福が向いて來ぬとも限らないもんですからの。』

何にも知らぬ母の歡びを見るに付けても、幸三郎は、自分ながら、一人の親を欺むき、良心を欺むいて居る罪が恐しさを考へずには居られぬのであつた。けれども餘計な心配を爲するよりはと、觀念の眼を瞑つて

『勿論、已れを知つて呉れる人の爲めには、一生懸命の畫を描き上げて遣らにやならんですよ。それは然うと、阿母さん、大分夜が更けたやうですから、今夜は、もう寢ると爲ませう。』

『然うでござろちやありません。時は爭はれないもので、此の二三日中の寒さは、格別膝頭の骨に堪へて來ました。どれ、表の戸でも閉いて來ませう。』

氣丈でも賢うても、子にはつい釣り込まれて了ふのが、なべての親の常である。初手の心配顔も、何時の間にやら、案外の機嫌顔に變つて、老母は、いそ〳〵と門口の雨戸を閉てに立ち出でたのであるが、その出會頭にがらりと格子戸を開けて、案內もなく入つて來た一人の老人があつた。六疊から射す電燈の灯影で、覺束なくも、その風恰好を透せば、思ひきや、絹代の父の白富總十郎であつた。

『おやツ、誰方かと思へば、白富さんぢや御坐いませんか？』

『お袋さん、誠にはや……伺はれた義理では御坐いませんが…………』と總十郎は、例に依てお人善の温柔過ぎるほど温柔な顔して、頭を撫でつゝ、履物を脫ぎかけたが『おう、恰度幸さんも在宅のやうで御坐いますな。』と、穴にでも入りたさうな面色

『はい、倅も宅に居りますが、今時何か起つての事で御坐いますかね。』

絹代問題の破裂以來、互に絶交の宣言こそ爲ないが、自然絶交の形に成りゆいて居る今日、突然總十郎の方から訪ねて來ると云ふのは、倉橋の母子に取つて、由々しき不思議でならねばならぬのである。

『お袋さん、御免蒙つても宜いで坐いませうかね。』

『さあ〳〵、お上りなさいましとも。そして、用向の概略を早く被仰つて見て下さい。あの、幸三郎や、五番町の小父さんがお見ゑになりましたよ。』

老母から言はれるまでもなく、幸三郎は、ちやんと最う承知して居たので、其處等に取散らしてあつた新聞などを觸つこに片寄せつゝ『兎も角も何卒此方へお通し巾て下さい。』

『さツ、白富さん、倅も彼お巾しさりますから、何卒お上りになつて……』

『誠にはや、夜分に出まして……それでは少時……』と、總十郎は、自身踏いほどうじ〳〵爲ながら、漸との事で、六疊の間へ摺り上つたのであるが、遠慮の爲めか、火鉢の上へ手をかざさうとも爲ないで『お袋さん……幸さんには何叓お合はせする顔はないんで御坐いますが、情ない二人共に、此の禿げ頭に免じて、道賊の事は平に御勘辨願ひたう御坐います。』と、皺から棒の詫言である。

西洋料理、電氣すき燒、ハイカラ丼　おいしいと京城第一との高評を博し居り候　南大門通　電話二五七一番　カフエータイガー

院長　醫學士　森定吉
內科　小兒科
京城本町三丁目　瓦斯會社前側　芙蓉醫院　電話二六三三番

## 巳の年頭に蛇の長廣舌

成南　瀨月生

（三）

木曾の山中にて小蛇を鍋に入れ、蓋には適當の穴を穿ちて湯沸騰せば蛇は穴より逝れんとす。此の時穴より其頭を摘み上ぐれば、頭と脊髓骨とを取り去り得べし。殘りをば飯と炊て食すと或人の紀行文に見ゐたり。又同地には大蛇の鹽漬を食ふの習慣ありと。旅人一夜鹽漬を食し其美味忘れ難く家人の固く多量に食するを禁じたるも、夜半密に之を多く食して髮皆脫け失せたる昔話あり。又木樵野人の深山に入り、大蛇に追はれ家に歸りて病に臥し、遂に起たざりしこと。蛇が雉子に化けて女を誑かしたる。又女を魅して陰部より入りたる。又女を姙娠せしめ蛇の子を生ましめたる。昔獵師ありて夜大木の洞に休みたるが非常に睡魔の襲ふに獵犬吠て止まざるも氣ずかね罵りたるが、犬は遂に洞の上より獵師を一呑にせんとせし蛇の喉を食へて死したる。德川の大老井伊掃部頭直孝が百千代君が小蛇を恐れたるにより非凡の器なるを知りしこと。岩見重太郎大蛇退治の功名物語。伊曾普物語の狩獵家と蝮蛇。其の他小夜中山鐘鐘記の醜女お玉の寄進したる鐘が鐘に溶けず鐘を撞き破らんとし遂に蛇となれる。平重盛と蛇。三藏法師西遊記の蛇が美女となりて之を誑かさんとしたる。竹生島の辯才天、曲亭藏の辨財天は龍身蛇體にて大蛇の形となりて龍宮に飛びたる。日高川の安珍清姬は道成寺に名高く。クレオパトラ『アダムイブ』選擇樂け申すも知也セイロン島の祭の面は蛇の面を用ゐ。日本輝光氏の妻君は名だたる蛇變家にして、又近時歐米貴婦人中に蛇を愛するもの多し。腰掛室の椅子の持の宜しきものにあらざるべく。餘り蛇の見世物は今も尙淺草六區に人足を留め蛇扱も一の職業となり居れり。俳吟に忽見大蛇の道に當りて横はるとあり。不識庵の詩に流星光底逸長蛇あり。孫呉の兵法には魚鱗、鶴翼、長蛇あり。孫子又曰率然者常山之蛇率然其首尾に至。擊其尾則首至。擊其中首尾至。と八大傳に里見義實三浦に龍を見るの條に頂は蛇に似たり、角なきを蛇龍と云ひ、又蛤龍と云ふとあり。そも蛇の名稱たる蓄し數しとせず。曰く龍蛇、巨蛇、長蛇、靈蛇、神蛇、異蛇、蟒蛇、蝮蛇、銀蛇、怪蛇、妖蛇、白蛇、錦蛇、青蛇、蝮蛇、飾蛇、毒蛇、惡蛇、玄蛇と云ひ。龍蛇は易に龍蛇之蟄以存ㇾ身也とあり。飾蛇とは長き蛇を云ふ。玄蛇とは山海經に黑水の南玄蛇あり鹿を食ふとあり。古文邪にては蛇を龍屬とす。蛇は星の名の一にして左傳に蛇龍に乘るとあり。昔傳には蛇の字を戴く。又曰く左傳に內蛇と外蛇と鄭南門の中に鬪ふ。內蛇死して六年にして鄭厲公入る。鄭子を殺す。中鑑曰く妖は人に由て興り、舋無し、妖は自ら作さず、人棄つれば常に則ち妖興る也と。昔隋侯傷蛇を見て以て之に藥を與ふ。後明月珠を啣を以て之に報すと。

## 新刊紹介

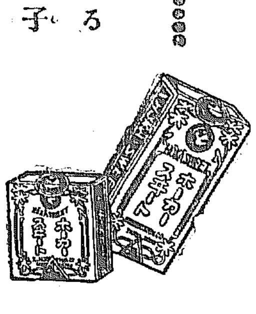
▲ニコ〳〵（新年號）ニコ〳〵倶樂部 『夜野會頭』長谷の恋』渋澤博士『道成寺』木村鷹太郎『鰐』外新年の追懷なる題下に大隈侯以下十一名の思ひ出話其他の歌舞伎の面白い話小波のお伽噺其他の好讀物（二十錢東京市麴町區有樂町三の三ニコ〳〵倶樂部）

▲評論之評論（新年號）巴里經濟會議の効果『阪谷男』工業當面の急務『安田博士』砲煙と消えた九百億圓『井上博士』農業經濟革新に就て『佐藤博士』大正九年と帝國の前途等の讀んで理學上より觀たる東西士星取表發表場所に於ける東西の新附錄と共に（二十錢東京市本郷區西片町）

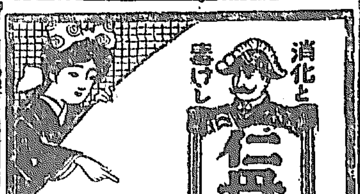
▲常識と科學（新年號）常識論『松田和三郎』猫の話『石原博士』海水糞の威力『小川芳太郎』眞空の話『鈴木麓之東北帝國大學』原因に關する疑問『緊野博士』の研究『スケー生』スコツ學派の新科學と大賽命の高利『鈴木敬』及び蘇峰先生の大正青年と帝國の前途に就てジヤンバルジヤン物語等（十八錢東京市下谷區谷中町三〇松美社）

誰人も云ふ樣に
最良の健康法は
早寢、早起と
毎朝夕一杯づゝ飲む事です!!
美味　滋養
蜂印香竄葡萄酒
◎朝飲めば　其日一ばい元氣よく
◎晩飲めば　疲れは癒りよく睡る
本酒は優良生葡萄酒を素とし補血强壯料を主成分として精製せる優良品にして
全國到る處の藥店酒店にありて
最も活潑なる賣行を呈しつゝあり
內外各國の金銀賞牌廿四個受領
東京本町
近藤利兵衛

高野人參精製應用
ホーカースヰート
風味第一……
と言はれてゐる
今評判のお菓子
韓國朝鮮人參に應用配劑してあるので風味第一であると同時に滋養第一の稱が御座います。
◎仕事の精力がつき
◎酒席の調子を整へ
◎煙草の代用となり
◎息切れた補け
◎人混み旅行によく
◎胃腸を調和する
をお奬め申し上げます!
本舖　東京日本橋　堀越嘉太郎商店　振替東京一五六



消化と毒けし
仁丹
胃の……廻禮に宴會に觀劇に
仁丹離されぬ
金言　病ある辯力無ければ安禁なし（カーライル）



營業品目
〈ツ〉
罐詰　乾物　海產物　淸酒　醬油　銘茶
漆器　家具　文具　紙物　荒物　履物
金物　陶器　磁器　石油　洗濯石鹸　東京澤庵
鹽鮭　昆布　鰹節　一六寸豆　金時豆　鶉豆　空豆
蒲團綿　中入綿　會席膳　吸物椀　重箱　鏡臺　箱火鉢
炬燵　飯櫃　飯蒸　七輪　ストーブ　茶瓶　鍋釜
仁川新町　津田兄弟屋本店　電話七六二番　振替口座京城三八九番
仁川宮町　津田兄弟屋支店
京城本町　津田兄弟屋支店

七日ゾッタラ鏡をごらん色白くなるダンソ液
今東京で大評判の元素液色黑き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す
小壜二十錢　德用四十錢　送料內地八錢　清鮮廾錢　臺灣廾錢
東京神田和泉橋際　松本藥店

▲山縣五十雄　村上唯吉共著
富の道しるべ　價十五錢　郵稅二錢
京城太平通　京城日報社代理部　振替二〇〇番

朝鮮總督府許可

人參エキス

內用精　效能
神經衰弱、神經痛、老衰、痳病、胸病、痔病、子宮病、營養不良、胃腸病より起る諸病の滋養强壯劑なり

外用精　效能
神經痛、健麻質斯、火傷、凍傷、切傷、打物、傷、腫物、肩の凝、蟲に螫れた時、筋の張等によし

定價　六十五錢　三十錢　二十五錢　六十錢　四十五錢　二十錢

人參直取引大販賣所
人參エキス　滋養藥　朝鮮名產　菓飴一切　製造本舖
京城本町二丁目　津村兄弟商會　電話一四八〇番　振替京城三五一〇番

支店　龍山元町二丁目　龍山支店
京釜線大邱驛前　大邱支店
釜山大倉町　電話三九四番　釜山支店

其他全道の藥舖にて販賣致居候萬一藥舖に無之御地方の方は直接本舖に御注文次第速に發送可仕代金は振替に依る事が最も安全且つ御便利に候本店支店共市內は御一報次第配達

金泉帽泉間自動車時間
上り　一番　二番　下り　一番　二番
金泉發　前八、〇〇　後一、〇〇　帽泉發　前九、三〇　後二、三〇

金泉織居自動車支部
金泉電話四八番

大邱浦項間自動車時間
上り　一番　二番　下り　一番　二番
浦項發　前八、〇〇　後一、〇〇　大邱發　前八、〇〇　後一、〇〇
大邱出張所　電話一一七番

大塚農場自動車部

尼崎汽船仁川出帆
釜山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
〇有吉丸　十一月　日後四時出帆
〇大吉丸　一月　日後四時出帆
〇秀吉丸　十二月十六日後四時出帆
〇君が代丸　一月十二日後四時出帆
仁川海岸通一丁目　電話五十九番　高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
門司、神戶、大阪行
〇立神丸　日後五時出帆
〇小倉丸　日後五時出帆
元山、淸津、浦鹽行
〇立神丸　日後十時出帆
〇小倉丸　日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、淸津行
〇第三琴平丸　日後六時出帆
門司、宇品、神戶、大阪行
〇第三琴平丸　日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
〇天與丸　毎月三日九日十四日廿一日廿六日（　）午後十時出帆
本舖　釜山港瀨戶新町　取扱店　大池回漕部

大阪商船仁川出帆
〇群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行
×薩州丸　一月二十日
〇安東丸　一月十五日後五時出帆
×天智丸　一月廿三日
〇木浦、釜山、門司、長崎行
×信濃川丸　一月二十日正午出帆
×信濃川丸　一月三日後二時出帆
〇群山、釜山、長崎行
△羅州丸　一月十七日
×薩州丸　一月卅一日後二時出帆
〇大連行
×信濃川丸　一月三十日正午出帆
×信濃川丸　一月十六日正午出帆
△瀬戶丸　一月十三日正午出帆
×安東丸　一月廿七日正午出帆
×安東丸　一月　日正午出帆
〇鎭南浦、淸津行（元山出帆）
△自八城津西湖津三寄港新潮不寄港
▲安平丸　一月十四日後三時出帆
▲昌島丸　一月二十日
〇木浦、釜山、門司、大阪行
大智丸　一月　日
天智丸　一月十四日正午十二時出帆
〇上海、香港行（大連出帆）
北辰丸　一月八日前六時出帆
基隆丸　一月廿六日後四時出帆
御注意　切符發賣所
京城切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　內鮮運送會社支店
電話二三〇　五六〇番

阿波共同汽船仁川出帆
〇芝罘、大連行
第二共同丸　一月十一日入港　一月十三日正午出帆
關東都督府命令航
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店　野口商會
元山代理店（電話二四九七番）　田口回漕部
京城取次店　南大門（電話二六八・二〇七）　河村運送店

朝鮮郵船仁川出帆
〇全羅丸　一月十五日
〇京畿丸　一月廿三日
〇咸鏡丸　一月二十日　釜山發
〇總城丸　一月十七日
〇昌平丸　一月十四日　元山發
〇昌平丸　一月十六日　元山發
〇德丸　一月十三日　釜山發
〇江陵丸　毎日　釜山發
〇襄陽丸　浦項發
〇三浦丸　一月十六日　釜山發
〇海州丸　〇統營丸　〇玉浦丸　〇慶寶丸　毎日　釜山發
〇順天丸　木浦發
〇慶興丸　一月十六日　木浦發
〇慶興丸　木浦發
〇公州丸　一月十五日　木浦發
〇江原丸　一月十八日　仁川發
〇麗水丸　〇晉州丸　一月十八日　仁川發
〇全州丸　〇錦江丸　毎日午前　仁川發
本社　電話一九五二番二三二番
京城南大門驛前　京城荷客取次店松原運送店

日本郵船仁川出帆
〇大連行、秦皇島行
〇營口丸　一月十四日正午出帆
〇淡路丸　一月十五日正午出帆
〇高砂丸　一月三十日正午出帆
仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

商況
▲依然動かず　前場寄付の氣配
▲今能く賣る
▲(りの商內
▲現物界
二月限　一萬石
三月限　七萬八千五十石
四月限　四萬六千八百五十石